



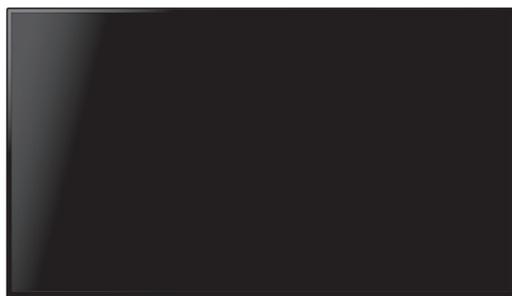
三菱4K液晶テレビ

カンタンサイネージ[®]

取扱説明書

形名

セットエム エフ エス
ZM-40F9S



- ご使用の前に、この「取扱説明書」と本機の画面上で見ることができる「使いかたガイド」をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 保証書は、必ずお買上げ日、販売店名または専門業者名などの記入をお確かめのうえ、販売店または専門業者からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保存してください。
- お客様ご自身では据付けしないでください。（安全や機能の確保ができません。）

製造番号は安全確保上重要なものです。お買上げの際は、製品本体および保証書に記載の製造番号をお確かめになり、裏表紙の「お客さま便利メモ」に記入しておいてください。



本紙の端面で手などを傷つけないよう、ご注意ください。

安全上のご注意 4

各部のなまえ
とはたらき 13

はじめに…

テレビを見る
までの準備 20

接続・設定をわかりやすく
説明しています

テレビを見る
とき 50

使いかたガイド
の見かた 54

困ったとき 59

「困ったとき」は、裏表紙の
もくじから探すこともできます

詳しいことは…

使いかたガイド

本機の画面上で、くわしい操作や設定
について見ることができます。

メニューを押して「使いかたガイド」を
選んでください。



使いかたガイドの
操作のしかたは **P.54** を
ご覧ください。



サイネージ取扱説明書

サイネージ機能のくわしい操作や設定
について説明しています。当社ホーム
ページ『取扱説明書ダウンロード』から
ご覧になれます。 **P.2**



本機の取扱説明書について

■この取扱説明書について

リモコンボタンの説明は P.16~17 にあります。リモコンによる操作はこれらのページを参考にしてください。

- 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
- 本書で例として記載している各画面の内容やキーワードなどは説明用です。
- 画面の背景や放送などの映像や絵は、はめ込み画像です。

■使いかたガイドについて

本機の画面上で、くわしい操作や設定について見ることができます。

メニューを押して「使いかたガイド」を選んでください。使いかたガイドの操作のしかたは P.54 をご覧ください。

■サイネージ取扱説明書について

サイネージ機能の、くわしい操作や設定について説明しています。

当社ホームページの以下のページからご覧になれます。

<http://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/wink/top.do>



こちらからも
アクセスできます。

※『サイネージ取扱説明書』は当社ホームページへの掲載のみです。

『使いかたガイド』とともに冊子他の形態でのご提供はありません。

■専用壁掛け金具、専用スタンド、専用天吊り金具について

本機は、壁掛け設置、天吊り設置専用の製品です。

本機の専用壁掛け金具、専用スタンド、専用天吊り金具は、当社での取り扱いを行っておりません。

お買い求めは、当社販売店または専門業者よりご購入ください。

商品の詳細に関しましては、下記取扱いメーカーまで、お問合せください。

アルファテック株式会社
株式会社 本宏製作所

ホームページ : <http://www.atc-inc.co.jp/>
ホームページ : <http://www.honko.co.jp/>

お知らせ

本機は、新4K8K衛星放送の8K放送には、対応していません。

もくじ

本機の取扱説明書について	2
--------------	---

安全上のご注意

安全のために必ずお守りください	4
ご使用上のお願い	10
留意点	12

各部のなまえとはたらき

各部のなまえとはたらき	
本体前面/側面	13
本体後面	15
リモコンのボタンの位置とはたらき	16
付属品	18
専用壁掛け金具 [他社製幹旋品]	19

テレビを見るまでの準備

テレビを見るまでの準備	20
準備1 設置と落下を防止する	21
準備2 アンテナをつなぐ	26
●UHFアンテナ	26
●BS・110度CSアンテナ	27
●レコーダーを通して接続するとき	30
●CATV(ケーブルテレビ)パススルーのとき	31
準備3 他の機器とつなぐ	32
●DVDプレーヤーとの接続	32
●ビデオ/ゲーム機との接続	32
●HDMI機器との接続	33
●デジタル音声(光)入力対応のオーディオ機器との接続	36
●パソコンとの接続	37

準備4 LANにつなぐ	38
ケーブルを束ねる	43
準備5 リモコンの準備をする	44
準備6 電源を入れる	45
準備7 らくらく設定をする	46
準備8 ACAS番号を確認する	48
屋内配線も重要です	49

テレビを見るとき

テレビ放送を見る	
(地上・BS・110度CSデジタル・BS4K・110度CS4K)	50
データ放送を見る	51
他の機器の映像を見る(入力切換)	52
字幕を出す	52
チャンネル内の映像を切り換える(映像切換)	53

使いかたガイドの見かた

使いかたガイドの見かた	54
使いかたガイドー項目一覧	57

困ったとき

メニュー機能の使いかた	59
故障かな?と思ったら	66
お手入れのしかた	68
放送について	69
著作権等について	71
テレビの上手な使いかた	裏表紙

本誌ご利用上のご注意

- この取扱説明書は主にカンタンサインージのベース機種50V型(DSM-50U9-SL)の本体図を使用して説明しています。
ご使用の機種により各部の配置が若干異なりますが名称は同じです。
- この取扱説明書の記述内容はすべて2019年12月時点のものです。
- 本機、接続機器共に、ソフトウェア更新、新モデルでの仕様変更等により記載内容と異なることがあります。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

安全上の
ご注意

各部の
なまえと
はたらき

テレビを
見るまでの
準備

テレビを
見る

使いかた
ガイド
の見かた

困ったとき

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
---	------------------------------------	---	--------------------------------------

■図記号の意味は次のとおりです。

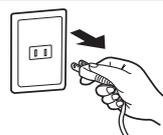
 絶対に行わない	 絶対に分解・修理はしない	 絶対に触れない	 絶対に風呂・シャワー室では使用しない
 絶対に水にぬらさない	 絶対にぬれた手で触れない	 必ず指示に従い行う	 必ず電源プラグをコンセントから抜く
 注意する	 指をはさまないように注意する	 手をはさまないように注意する	 高圧注意 (本体後面に表示)

警告

電源プラグは容易に手が届く場所の電源コンセントに差込んでください。
完全に通電を遮断するには電源プラグを抜いてください。

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災・感電・傷害の原因になります。
すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、
販売店または専門業者に修理をご依頼ください。



<p>故障(画面が映らない、音が出ないなど)や煙、変な音・においがするときは使わない</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>   使用禁止 <p>すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認して、販売店または専門業者に修理をご依頼ください。</p>	<p>本機を落としたり、キャビネットや液晶パネルが破損したときは、電源プラグをコンセントに差し込まない</p>  使用禁止 <p>火災・感電の原因になります。</p>
<p>水をかけない 水のいった物、花瓶などを機器の上に置かないこと</p>  水ぬれ禁止 <p>本機の中に水などが入ると、火災・感電の原因になります。</p> <p>万一入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または専門業者にご相談ください。</p>	<p>異物を入れない 特にお子様にご注意ください</p>  禁止 <p>通風孔などから金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災・感電の原因になります。</p> <p>万一入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または専門業者にご相談ください。</p>
<p>液晶テレビのガタや振動が激しいときは使わない</p>  使用禁止 <p>傷害の原因になります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、人が近寄れないように処置した上で、販売店または専門業者にご相談ください。</p>	<p>取付ネジや部品のゆるみやはずれがあるときは使わない</p>  使用禁止 <p>傷害の原因になります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、人が近寄れないように処置した上で、販売店または専門業者にご相談ください。</p>

警告

無線LANを使用するときは、火災報知器などの自動制御機器の近くに設置しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になることがあります。



禁止

無線LANを使用するときは、医療用電気機器を用いる場所には設置しない

本製品からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になることがあります。



禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついたり変形した台の上や傾いた所など。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。



設置禁止

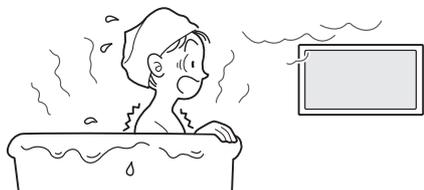
テレビ台の車(キャスター)を固定する

台が動くと本機が倒れ、けがの原因になります。



車を固定

風呂場では使わない機器を水滴のかかる場所に置かないこと



風呂場禁止



水ぬれ禁止

水気の多い場所での使用は、火災・感電の原因になります。

設置は必ず当社指定の専用壁掛け金具、天吊り金具やオプションスタンドを使用し、設置は必ず販売店または専門業者に依頼する



専用金具を使用



専門業者に依頼

- 設置は、専用壁掛け金具、天吊り金具やオプションスタンドに同梱されている取扱説明書の記載どおりに設置し、専用壁掛け金具、天吊り金具やオプションスタンドに同梱のネジを必ずご使用ください。
- 販売店、専門業者以外の方が取り付けられたり、取扱説明書の記載と異なる取り付けをすると、テレビが落下し、けがの原因になります。死亡事故に結びつく恐れもあります。

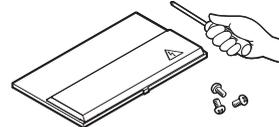
本機にのったり、ぶらさがったりしない
特にお子様にご注意ください

落下してけがの原因になります。



禁止

分解や改造をしない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。また、けが・火災の原因になります。

内部の点検・調整・修理は販売店または専門業者にご相談ください。

乾電池、ネジなど小さな付属品やSDカードなどは幼児の手の届くところに置かない

飲み込むと窒息死する原因になります。

万一飲み込んだ場合は医師に相談してください。



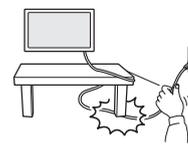
禁止

接続線で遊ばせない。けがの原因になります。

電源コード、接続ケーブルを傷つけない

重いものをのせたり、壁面にはさんだり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張らない。

コードが破損して火災・感電の原因になります。



傷つけ禁止

安全のために必ずお守りください(つづき)

警告

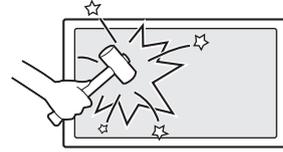
コンセントや配線器具の定格を超える
使いかたはしない



禁止

タコ足配線などにより、
電源コンセントの容量を超えると
火災・感電の原因になります。

液晶画面に強い衝撃を加えない



禁止

パネルが割れて、けがの原因になります。

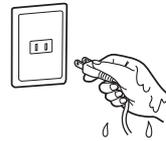
雷が鳴りだしたら、アンテナ線に触れない



接触禁止

火災・感電の
原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

液晶パネルが破損して液晶が漏れ出た
場合は、吸い込んだり、
目や口に入れない



禁止

中毒を起こす原因になります。
万一、目や口に入った場合は、きれいな水で
ゆすいだ後、すぐに医師の診断を受けてください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

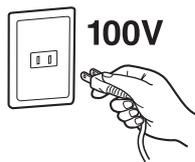
電源プラグにほこりが
ついたりコンセントの
差し込みが不完全な場合は、
火災の原因になります。



ほこりを取る

電源は、交流100Vを使う

交流 100V 電源
以外で使用すると、
火災・感電の原因に
なります。



100V

傷んだ電源コードや差し込みのゆるいコンセントは使わないでく
ださい。1年に一度は電源プラグとコンセントの定期的な清掃
と接続を点検してください。

⚠ 注意

設置のときは次のことをお守りください

風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

空気穴(通風孔)をふさがない



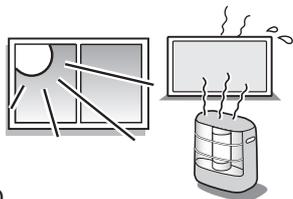
禁止

あお向けや横倒しにしない



禁止

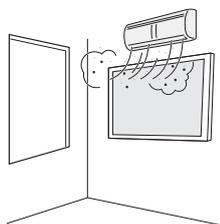
直射日光の当たるところや熱器具のそばに置かない



設置禁止

キャビネットが
変色、変形などの
劣化を起こす原因に
なることもあります。

エアコンの吹出口や吸込口の近くに
取り付けない



設置禁止

火災の原因に
なります。

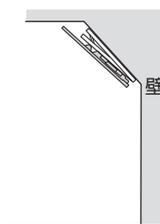
湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所、
温泉地域の腐食性ガスの
多い所に置かない



設置禁止

水平な天井、垂直面以外の壁面に取付けない
下向きで使わない、さかさまにしない

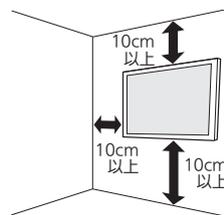
内部が高温になって火災の原因になります。
落下してけがの
原因になります。



設置禁止

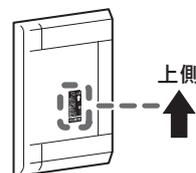
据付の際は周囲に十分な距離を取る

設置位置によっては、通風孔からの空気の流れで壁を汚す、また火災の原因になります。



周囲から離す

指定された向きを守って取り付ける



向きを守る

アンテナ工事には、技術と経験が必要です

販売店にご相談ください。
送配電線から離れた場所
に設置してください。
アンテナが倒れると感電
の原因になります。



販売店に
相談する

BS、CS放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいので
確実に取り付けてください。

オプションスタンド使用時は、
ワックスのかかった床に
直接置かない



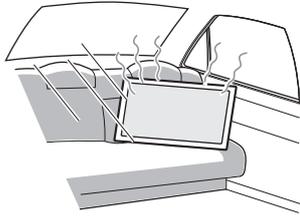
設置禁止

床上のワックス、洗剤、溶剤により、
床材と本体底面の
すべり止め用ゴムの密着性が
上がり、床材のはがれ、着色の原因になります。

安全のために必ずお守りください(つづき)

⚠ 注意

車の中で使用しない



禁止

熱・振動により壊れて、火災・感電の原因になります。

本機の上や近くにものを置かない
ローソクのような
裸火を本体の上や
近くに置かない



禁止

金属類や液体が
内部に入ると、火災・感電の原因になります。

日本国外で使用しない

日本以外では、電源電圧、電源環境が異なるため使用しないでください。
火災、感電の原因になります。
放送方式が異なるため使用できません。
また、アフターサービスもできません。



禁止

This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other countries.
No servicing is available outside of Japan.

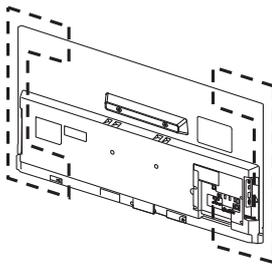
携帯端末のリモコン機能による本機の遠隔操作は、本機が見える位置からのみ行う



指示に従う

万が一本機に何か異常が発生しても、
本機の状態を確認することができません。

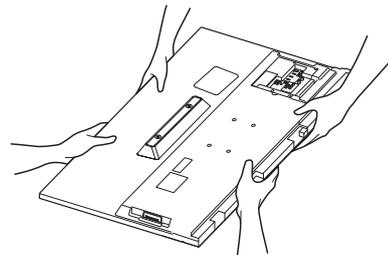
製品の開梱や運搬をするときは、
下図の破線部を持たない



禁止

製品の故障や破損の原因になることがあります。

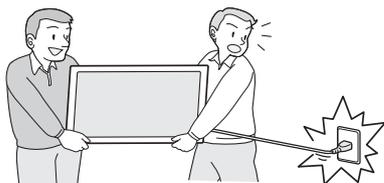
製品の運搬や移動をするときは、
製品を水平にしたままで保持しない
垂直に立てた状態にする



禁止

製品の故障や破損の原因になることがあります。

接続線をつけたまま移動しない



禁止

火災・感電の原因や、つまずいてけがの原因になります。

電源プラグやアンテナ線、機器間の接続線や転倒防止金具をはずしたことを確認のうえ、移動してください。

持ち運びは2人以上で行う



2人以上で

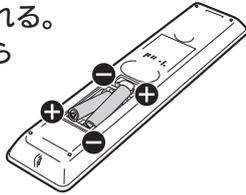
本機の落下や思わぬけがの原因になります。
車(キャスター)付きのテレビ台ごと移動させるときは、テレビ台のキャスター固定手段をはずして本機を支えながらテレビ台を押す。

本機を支えながらテレビ台を押さないと、本機が落下してけがの原因になることがあります。

⚠ 注意

乾電池の逆差し禁止

- プラス⊕とマイナス⊖の向きを正しく入れる。
- マイナス⊖側から入れる。



正しく入れる

本機に内蔵の無線装置を分解・改造しない
本機に貼られている無線機器認定の証明ラベルをはがさない



禁止

電波法に抵触するおそれがあります。

乾電池取扱いについて

- 分解したり、ショートさせたり、火の中に投入したりしない。
- 充電しない。
- 種類の違う電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。



禁止

電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚す原因になります。

アルカリ乾電池のアルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。
また、目に入ったときはきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。

内部掃除は、販売店または専門業者に依頼する

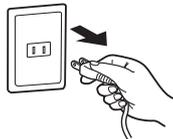


内部掃除

1年に一度くらいを目安にしてください。
内部にほこりがたまったらそのまま使うと、火災や故障の原因になります。

とくに梅雨期の前に行うのが効果的です。
内部掃除費用については販売店または専門業者にご相談ください。

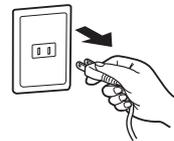
電源プラグを持って抜く



プラグを持つ

コードを引っ張ると傷がつき、感電・火災の原因になります。

お手入れのときは、電源プラグを抜く



プラグを抜く

感電の原因になります。

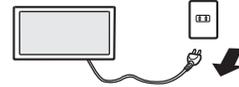
電源プラグは根元まで差し込む



根元まで差し込む

差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因になります。

長期間の旅行、外出のときは電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

ケーブル類を接続したりはずしたりする前に、必ず電源プラグを抜いてください。

ご使用上のお願い

電波妨害について

本機は規格を満たしていますが若干のノイズが出ています。「ラジオ」や「パソコン」などの機器に本機を近付けると互いに妨害を受けることがあります。このときは機器を影響のないところまで本機から離してください。

搬送について

- 引っ越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱と緩衝材および包装シート・袋をご用意ください。
- 本機は立てた状態で運搬してください。横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、輝点や黒点が増加することがあります。
- SDカードは取り出しておいてください。

壁、天井への取付けについて

- 危険ですからお客様ご自身で取り付けずに、販売店または専門業者にご相談ください。
- ケーブルの端子形状/サイズによっては壁面と干渉し使用できません。設置前にご確認ください。
- 取り付けネジや電源コードが、天井内部の金属部と接触することがないように設置してください。
- 振動の多い場所、衝撃や大きな力がかかる場所、スプリングラダーや感知器のそば、高圧線や動力源の近くには設置しないでください。
- 液晶テレビと壁掛け金具、天吊り金具の総合荷重に長期間耐えられない壁や天井や、地震や想定される振動や外力に十分耐えられない壁や天井には取り付けないでください。
- 壁掛け金具を壁面に固定するときや天吊り金具を天井に固定するときは、壁や天井の材質や構造に適したネジをご使用ください。
- 長期間取り付けでご使用されたときは、壁や天井の材質によっては、テレビの放熱によりテレビ本体の背面や上面にあたる壁面や天井が変色したり、壁紙がはがれたりすることがあります。
- 壁掛け金具や天吊り金具をいったん取り付けると、外した場合に壁や天井にネジ穴の跡や壁掛け金具や天吊り金具の取付け跡が残ります。

画面の残像について

時刻表示や静止画を長時間表示された場合や、画面に黒帯等が出る状態で長時間ご使用された場合、部分的に映像が消えない(残像)症状が発生する場合がありますが、これは故障ではありません。通常の動画放送をご覧いただくことにより、次第に目立たなくなります。

露付き(結露)について

本機の内部に水滴がつくことを露付きといいます。露付き状態で本機を使用すると、SDカードの情報が読みとれないなど、本機が正常に動作しなかったり故障の原因となることがあります。

- 露付きは、次のように温度が急に変わる場合に起こります。
 - ・部屋を急激に暖房したとき
 - ・エアコンなどの冷風を直接当てたとき
 - ・本機を寒いところから暖かいところに移動させたとき
- 露付きが起こりそうなときは、電源を入れて2時間以上おき、十分に乾燥させてからご使用ください。SDカードが入っているときは、必ず取り出しておいてください。

動作時・待機時の本体温度について

本体や上面の一部は温度が高くなりますので、ご注意ください。品質・性能には問題ありません。

液晶パネルについて

- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。液晶パネルの輝点(点灯したままの点)や黒点(点灯しない点)は保証の対象とはなりません。
- 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布で拭きとってください。液晶パネルを素手で触らないでください。
- 液晶パネルに水滴などがかかった場合はすぐに拭きとってください。そのままにすると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 液晶パネルを傷つけないでください。硬いもので液晶パネルの表面を押ししたり、ひっかいたりしないでください。

本機を使わないときは

ふだん使わないときは、SDカードを取り出し、リモコンまたは本体の電源ボタンで電源を切っておいてください。

開封時・ご使用初期の臭いについて

開封時や据付初期のご使用中およびご使用後に、多少の臭いを感じる場合があります。これは、プラスチックなどを外装や内部に使用しているために発生するものです。この臭いのご使用とともに軽減されます。

無線LAN/Bluetooth®について

本機の無線LANは2.4GHz帯と5GHz帯、Bluetooth®は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使用している場合があります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に留意してご使用ください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1.この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2.万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- 3.その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、別紙「取扱説明書(ファクトリー機能編)」裏表紙に記載の連絡先へお問い合わせください。

■現品表示

- Bluetooth®の周波数表示の見かた



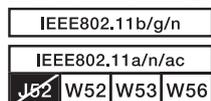
「2.4」:2.4GHz帯を使用する無線設備であることを表す。
「FH」:変調方式を表す。FHSS方式。
「1」:想定される与干渉距離を表す。10m以下
■■■■■:2.4GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを表す。

- 無線LANの周波数表示の見かた



「2.4」:2.4GHz帯を使用する無線設備であることを表す。
「DS/OF」:変調方式を表す。DSSSとOFDM方式。
「4」:想定される与干渉距離を表す。40m以下
■■■■■:2.4GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを表す。

本機は、以下の無線LANの規格にも対応しています。



「W52」:5.2GHz帯(36、40、44、48ch)が利用可能。
「W53」:5.3GHz帯(52、56、60、64ch)が利用可能。
「W56」:5.6GHz帯(100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)が利用可能。
※本機は従来の無線規格であるJ52には対応していません。

■機器認定

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、工事設計認証を受けた無線設備を内蔵しています。従って本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、当社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- 本機内蔵の無線装置を分解・改造すること。
- 本機に貼られている証明ラベルをはがすこと。

■使用制限

- 本機は、日本国内でのみ使用できます。
- 本機は工場内の同一室内で、見通しのよいところでご使用ください。
- 5GHz帯の無線設備を屋外で使用することは法令で禁止されています。
- すべての使用環境で無線LAN接続、性能を保証するものではありません。
- 2.4GHz帯の機器(電子レンジなど)をお使いの場合は、無線LANの通信が途切れることがあります。
- 5GHz帯に対応した無線LANルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。
- 本機のBluetooth®機能を使用するには、Bluetooth®対応機器がA2DPのソース機器である必要があります。
- 本機はAVRCPには非対応です。
- すべてのBluetooth®対応機器との無線通信を保証するものではありません。
- 本機を航空機や医療電気機器などの高精度電子機器の近くで使用すると誤動作の原因となることがあります。これらの近くで使用しないでください。特に、医療機関には設置しないでください。
- 電波の状況によっては、音が途切れたり雑音が入ったりすることがあります。
- 無線LANはBluetooth®と同一周波数帯を使用するため、近くでBluetooth®機能を利用すると通信速度の低下や

雑音・通信不能の原因になることがあります。無線LANの接続に支障がある場合はBluetooth®機能の使用を中止してください。

■セキュリティ

- 無線LANでは、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届いてしまいます。セキュリティに関する設定を行うことで、以下のようなことを防げます。
 - 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
 - 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)。
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)。
傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)。
コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)。

本来、無線LAN製品はセキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。セキュリティ対策を行わず、あるいは、無線LAN仕様上やむをえない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本機は、Bluetooth®標準規格に準拠した盗聴防止機能を搭載していますが、環境や設定により機能が十分でない場合があります。傍受にご注意ください。
- Bluetooth®利用時のデータや情報の漏洩により発生した損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機を第三者に譲渡したり、廃棄するなどお客様以外の方へ渡される場合は、LANの設定情報を初期化してください。

留意点

ご使用の前に下記の内容を必ずお読みください。

- 受信異常により本機の操作ができなくなった場合は、以下のいずれかを行ってください。(リセット)
 - ・テレビ本体の電源ボタンを長押しする。いったん電源が切れ、自動的に起動します。
 - ・コンセントから電源プラグを抜き電源をいったん切ったあと、しばらくして再度コンセントへ電源プラグを差し電源を入れ直す。
- 国外でこの製品を使用して有料放送サービスを楽しむことは、有料サービス契約上禁止されています。
- 他の機器とつないだ際、万一、本機の不具合により、録画できなかった場合の補償についてはご容赦ください。
- 他の機器とつないで、録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域(VHF:90～222MHz、UHF:470～710MHz、BSデジタル:1032MHz～1489MHz、110度CSデジタル:1595MHz～2071MHz、BS4K:2224～2681MHz、110度CS4K:2748～3224MHz)に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

- 頻りに電源プラグを抜いたままにしないことをおすすめします

長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、本機の電源プラグをコンセントから抜いたままにしないことをおすすめします。本機は電源オフ(待機)状態でも、自動的にテレビ放送のメンテナンス情報を受信して、ソフトウェアの更新が行われる場合があります。

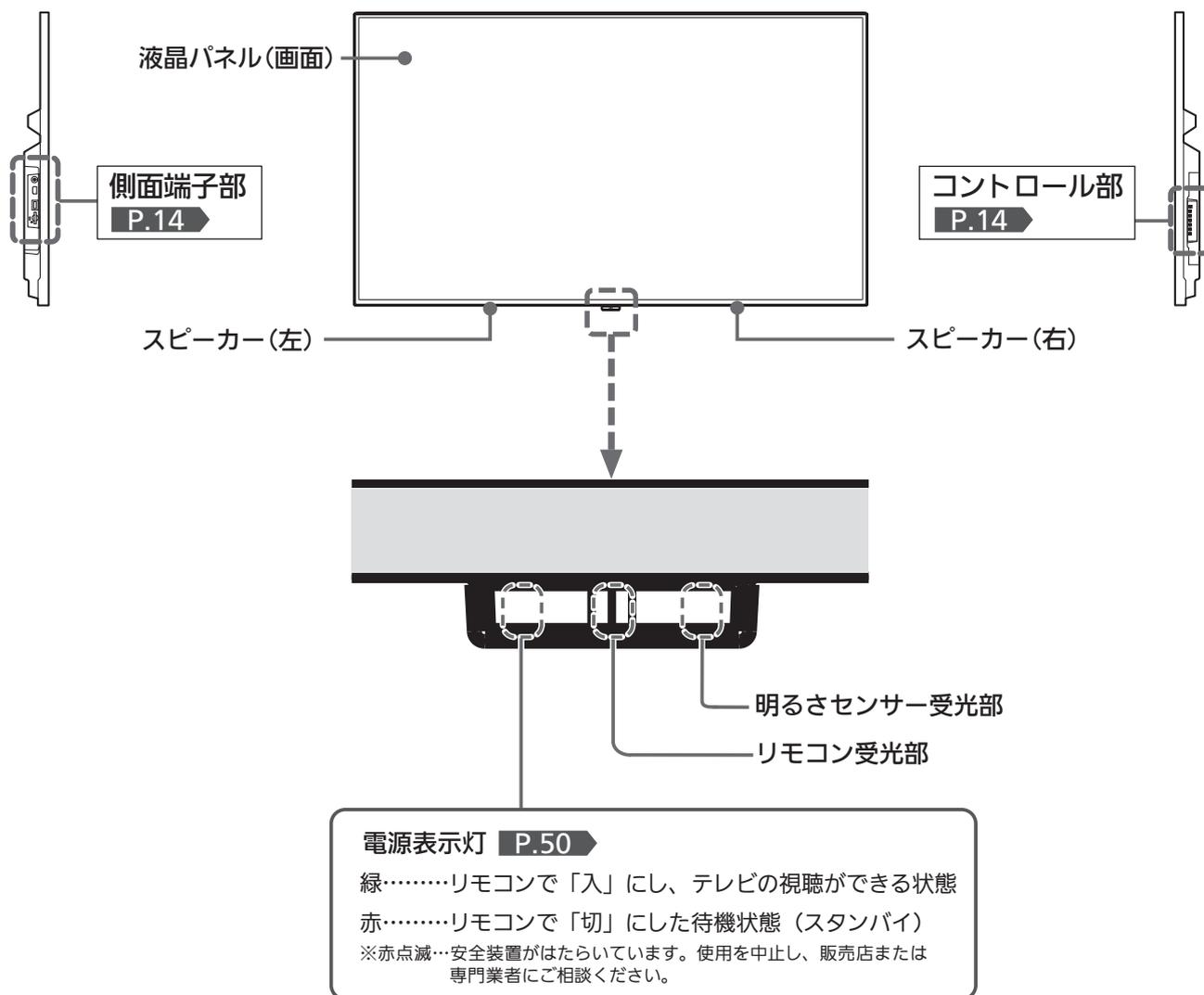
- 天候不良によっては、画質、音質が悪くなる場合があります

衛星デジタル放送の場合、雨の影響により衛星からの電波が弱くなっているときは、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。(降雨対応放送が行われている場合)降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。

降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

- 液晶パネルの輝点(点灯したままの点)や黒点(点灯しない点)は保証の対象とはなりません。
- お客様または第三者が本機の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合または本機の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 当社指定の専用壁掛け金具、専用天吊り金具、専用スタンド以外での設置、専門業者以外での設置によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機でお客様が設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合には、「全情報の初期化」により個人情報を消去されることをおすすめします。
- 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧による故障および損傷は有料修理になります。
- LCD(液晶)パネルおよびバックライトの経時による劣化(焼き付き、輝度の低下など)が生じた場合は有料修理になります。

各部のなまえとはたらきー本体前面/側面



安全上の注意

各部のなまえとはたらき

留意点
各部のなまえとはたらきー本体前面/側面

お知らせ

- 電源表示灯が無点灯のときは、本体の電源ボタン以外の操作はできません。
- リモコンの電源ボタンで「切」にすると待機状態になります。マイコンおよびチューナーなどの回路が通電しています。
- 本機は待機状態のときに、自動的にテレビ放送のメンテナンス情報を受信して、ソフトウェアの更新が行われる場合がありますので、長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は電源プラグを抜いたり、本体の電源を「切」にしないことをおすすめします。

- 操作できなくなったり、表示が正常でなかったりする場合は、しばらく本体の電源を「切」にしてみてください。
- テレビ画面に向けて光線銃などを使い、画面を標的にするゲームでは、正しく動作しないことがあります。くわしくはゲームの取扱説明書をご覧ください。

次ページへつづく

各部のなまえとはたらきー本体前面/側面(つづき)

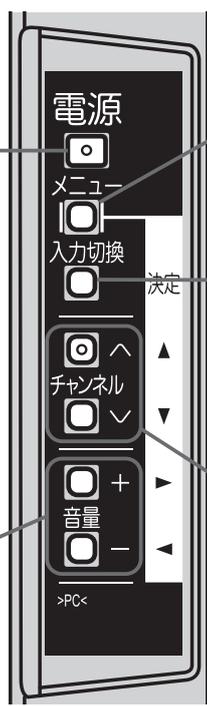
各部のなまえとはたらき

コントロール部

押すごとに、機能停止状態と動作状態とに切り換わります。機能停止状態(電源表示灯が無点灯)にすると、リモコンの電源ボタンで電源を「入」にできません。ほとんど全ての回路が停止するため、テレビ放送での必要な情報が取り込めなくなり、視聴予約なども動作しません。

受信異常によりテレビの操作ができなくなった場合、長押しするとテレビを再起動できます。

音量を調節する。
メニュー表示中はリモコンの◀▶と同じはたらきをする。



メニューを表示する。

ビデオやDVDなどを見るときに押す。 **P.52**

押すごとに、地上デジタル→BS→CS1→CS2→BS4K→CS4K→ビデオ→D端子→HDMI1→HDMI2→HDMI3→HDMI4→PC→Bluetoothの順に切り換わります。

メニュー表示中はリモコンの決定と同じはたらきをする。

視聴している放送の種類の中でチャンネルを順送り、または逆送りで切り換える。 **P.50**

ビデオ入力やPC入力などの映像を見ているときは、最後に見ていた放送波を表示して、チャンネルを切り換えます。

メニューなどを表示中はリモコンの▲▼と同じはたらきをする。

お知らせ

入力切換、チャンネル、音量ボタンが、リモコンの決定、▲▼◀▶と同じはたらきをするのは、メニューの各項目が画面に表示されているときに限ります。

側面端子部

サービス用 (側面)

※USBメモリ、時刻保持ユニット、USBボタン、バーコードリーダー機器接続用。

※USBボタン履歴収集機能に対応。

HDMI機器を接続する。再生専用。 **P.33**



ステレオのヘッドホンを差し込む。

スピーカーとヘッドホンで別々に音量が設定できます。

スピーカーとヘッドホンを同時に使用したい場合は、「スピーカー音声同時出力」を「入」に切り換えてください。

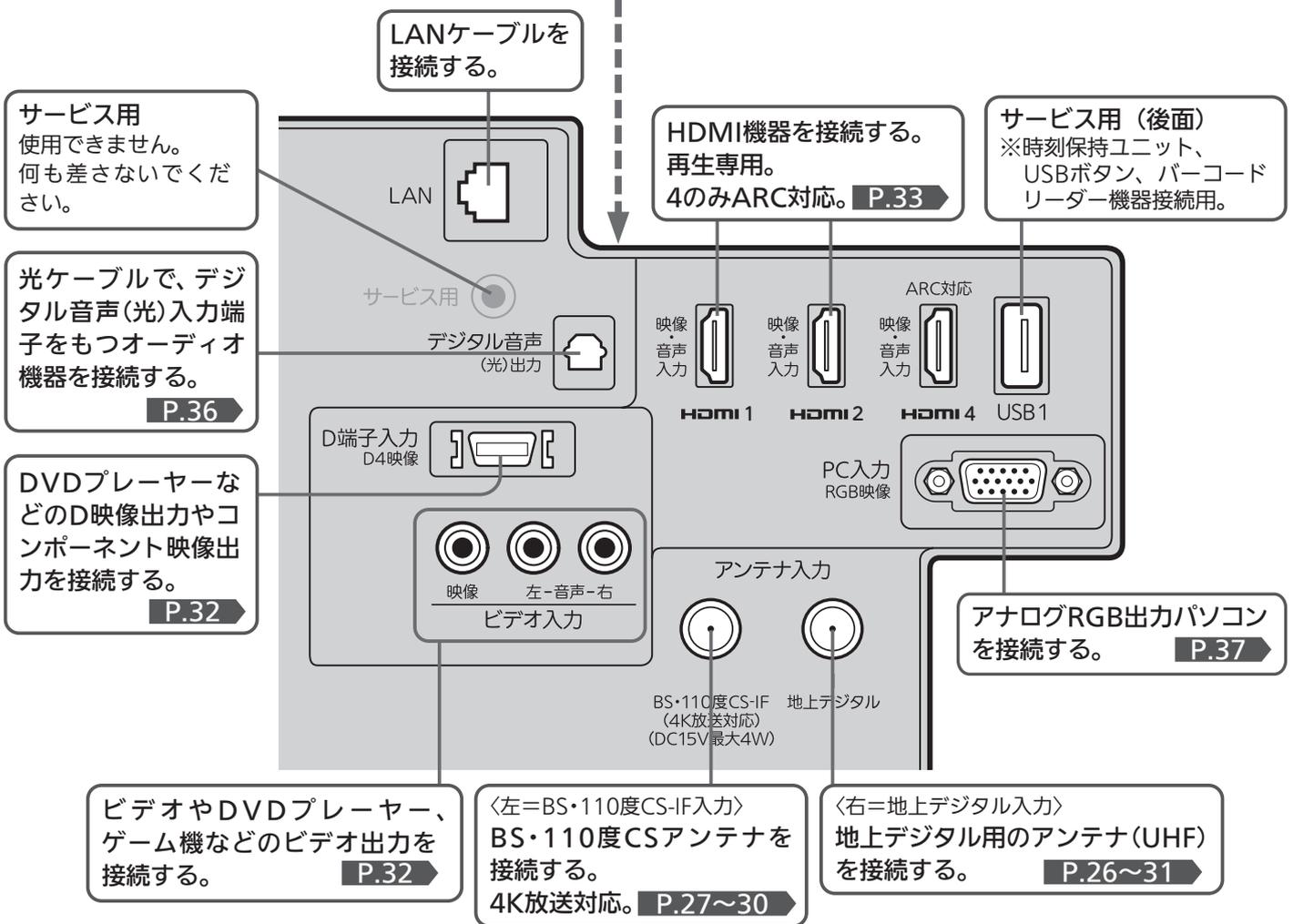
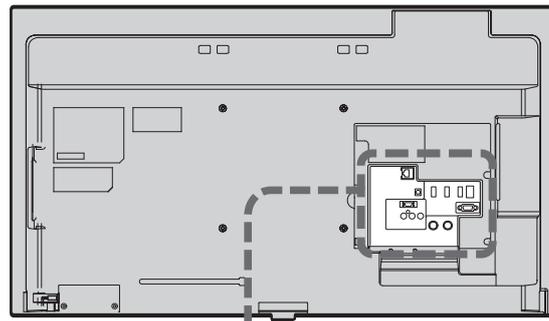
外部音声出力端子としてもお使いください。

SDカードを入れる。

各部のなまえとはたらき—本体後面

各部のなまえ
とはたらき

各部のなまえとはたらき—本体前面／側面／本体後面



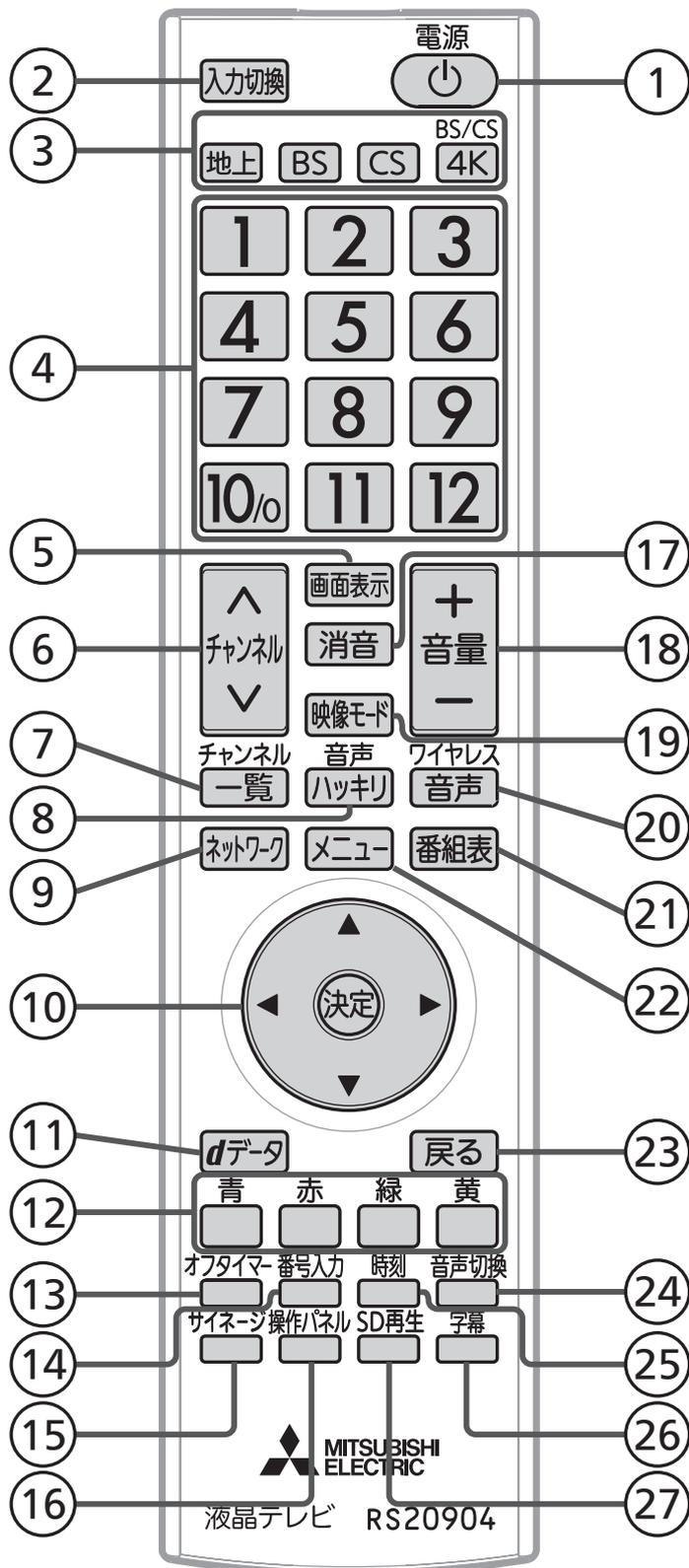
🗣️ お願い!

- 接続は、電源プラグを抜いてから行ってください。
- 映像・音声接続用のプラグと端子で色分けがしてあるものは、それぞれ色が合うようにつないでください。
映像…黄、音声-左…白、音声-右…赤
- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音、映像ノイズなどの原因になります。
- 接続線は、後面のクランプで固定してください。P.43

- プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜き取ってください。
- 機器をつないで映像が乱れたり、雑音が出るときは、たがいに近すぎることがあるので、機器を十分に離してください。
- 機器によっては接続が異なる場合がありますので、接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。

リモコンのボタンの位置とはたらき

各部のなまえ
とはたらき



リモコンの使用範囲



7m以内

リモコン受光部に正しく向けてください。使用範囲は角度により異なります。

この製品はリモコンコードを変更できます。

当社製テレビが複数台近くにあるときなどに切り換えると便利です。

- ① **電源**：電源を入/切する。 **P.50**
- ② **入力切換**：押すごとに、ビデオ→D端子→HDMI1→HDMI2→HDMI3→HDMI4→PC→Bluetooth→放送の順に切り換わる。 **P.52**
使用しない入力をスキップ(飛び越し)することができます。
- ③ **地上、BS、CS、BS/CS 4K**：地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送、BS4K・110度CS4K放送に切り換える。 **P.50**
視聴しない放送波のボタンを無効にすることができます。
- ④ **数字ボタン**：チャンネルを直接選んだり、数字を入力する。
- ⑤ **画面表示**：チャンネル番号、音声の種類、節電メーター、画面サイズ、未読お知らせの有無、現在時刻、放送時間、番組名などを画面に表示する。
- ⑥ **チャンネル ▲ ▼**：チャンネルを順送り、または逆送り切り換える。 **P.50**
ビデオ入力やPC入力などの映像を見ているときは、最後に見ていた放送波を表示して、チャンネルを切り換えます。
視聴しないチャンネルをスキップすることができます。
- ⑦ **チャンネル一覧**：チャンネル一覧を画面に表示する。
- ⑧ **音声ハッキリ**：声ハッキリプラスの設定をする。
- ⑨ **ネットワーク**：「ネットワーク」のサービスを選ぶ。
インターネットへの接続と設定が必要になります。
- ⑩ **上下左右、決定**：番組表、メニューなどの画面を表示中に、選択や決定などをする。
「リンク機器操作」の操作パネルを表示中は、接続したリアリンク対応レコーダーの操作ができます。
「動画配信サービス」の操作パネルを表示中は、コンテンツの操作ができます。
「家庭内ネットワーク」の操作パネルを表示中は、コンテンツの操作ができます。
- ⑪ **データ**：テレビ放送に連動したデータ放送画面を表示する。 **P.51**
画面に「◎ボタンを押してください」と表示が出たときにも押します。
- ⑫ **色ボタン**：番組表の表示中やデータ放送などで、画面に色ボタンの表示があるときに使用できる。
「リンク機器操作」の操作パネルを表示中は、接続したリアリンク対応レコーダーの操作ができます。
「動画配信サービス」の操作パネルを表示中は、コンテンツの操作ができます。
「家庭内ネットワーク」の操作パネルを表示中は、コンテンツの操作ができます。
- ⑬ **オフタイマー**：押すごとに30分、60分、90分、120分後に電源が切れるように設定できる。
- ⑭ **番号入力**：このボタンに続けて3桁のチャンネル番号を入力してチャンネルを選ぶ。 **P.50**
- ⑮ **サイネージ**：サイネージ設定をするときに押す。
くわしくは「サイネージ取扱説明書」をご覧ください。 **P.2**
- ⑯ **操作パネル**：HDMI端子を使って接続している機器を本機のリモコンで操作する。
 リアリンク対応機器との接続が必要です。
対応機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
「動画配信サービス」で動画コンテンツを視聴中に操作パネルを表示します。
SDカードで動画を再生中に操作パネルを表示します。
「家庭内ネットワーク」で動画を視聴中に操作パネルを表示します。
- ⑰ **消音**：音を一時的に消す。
- ⑱ **音量 + -**：音量を調節する。 **P.50**
- ⑲ **映像モード**：お好みの映像モードを選ぶ。
- ⑳ **ワイヤレス音声**：Bluetooth®音楽操作選択画面を表示する。
- ㉑ **番組表**：番組表を表示する。
- ㉒ **メニュー**：メニューを表示する。
- ㉓ **戻る**：メニューなどの画面を表示中に、1つ前の画面に戻る。
- ㉔ **音声切換**：視聴中の音声を切り換える。
- ㉕ **時刻**：画面上に時刻を表示する。
- ㉖ **字幕**：字幕の言語や、表示の有無を設定する。 **P.52**
家庭内ネットワークで視聴しているものでも字幕のある番組は操作ができます。
- ㉗ **SD再生**：サイネージ機能でSDカード内のデータを再生する。

付属品

テレビを見るために

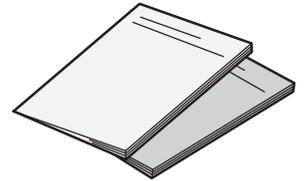
リモコン…1台



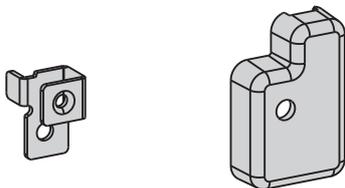
単4形乾電池…2個
(リモコンのそばにあります)



取扱説明書…2冊
(下側発泡材の中にあります)



SDカード盗難防止カバー…1組
(取扱説明書と同じ袋に入っています)



SDカード盗難防止カバー
取り付けネジ(黒) … 各1個
(取扱説明書と同じ袋に入っています)

ネジA(M2.6×8)



ネジB(3×10)



黒シール(大・小)

(取扱説明書と同じ袋に入っています)

- 設置時に、必要に応じてご使用ください。

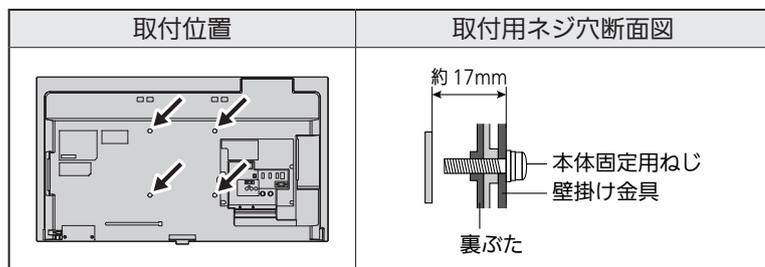


専用壁掛け金具 [他社製幹旋品]

本機は、壁掛け設置、天吊り設置専用の製品です。

設置は、必ず下記当社指定の専用壁掛け金具、専用スタンドまたは専用天吊り金具を使用し、必ず販売店または専門業者にご依頼ください。当社指定の専用壁掛け金具、専用天吊り金具、専用スタンド以外での設置、専門業者以外での設置によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

専用壁掛け金具/専用スタンド/専用天吊り金具取付位置(✓)



お知らせ

本機の専用壁掛け金具、専用スタンド、専用天吊り金具は、当社での取り扱いを行っておりません。お買い求めは、当社販売店または専門業者よりご購入ください。商品の詳細に関しましては、下記取扱いメーカーまで、お問合せください。

アルファテック株式会社
株式会社 本宏製作所

ホームページ : <http://www.atc-inc.co.jp/>
ホームページ : <http://www.honko.co.jp/>

アルファテック株式会社製 専用壁掛け金具/専用スタンド/専用天吊り金具(幹旋品)

壁掛け金具	型番		PS-6F-MK06B	PS-6F-MK06RXB
	調整角度	横設置	下向き 約0° ~ 約20°	約0° (固定)
		縦設置 ^{※1}		
取付ネジ (同梱品)		M4x16 M4x55 ^{※2}	M4x16	

※1: ファクトリー機能については、縦設置には対応しておりません。

縦設置で使用するためには、別途「MK06アダプタ」が必要となります。

※2: 「MK06アダプタ」取付時の使用するネジは、「MK06アダプタ」同梱のネジを使用します。

スタンド	型番		EJ3A-XB
	調整角度	横設置	約0° (固定)
	取付ネジ (同梱品)		M4x40

天吊り金具	型番		ATC02RU-1800-40 ^{※3}	ATC02RU-800-40 ^{※3}	
	調整角度	横設置	約0°、下向き	約10°、下向き	約20°
			約0°、左向き	約30°、右向き	約30°
取付ネジ (同梱品)		M4x16			

※3: 2020年4月 発売予定

株式会社 本宏製作所製 専用キャリアブルスタンド(幹旋品)

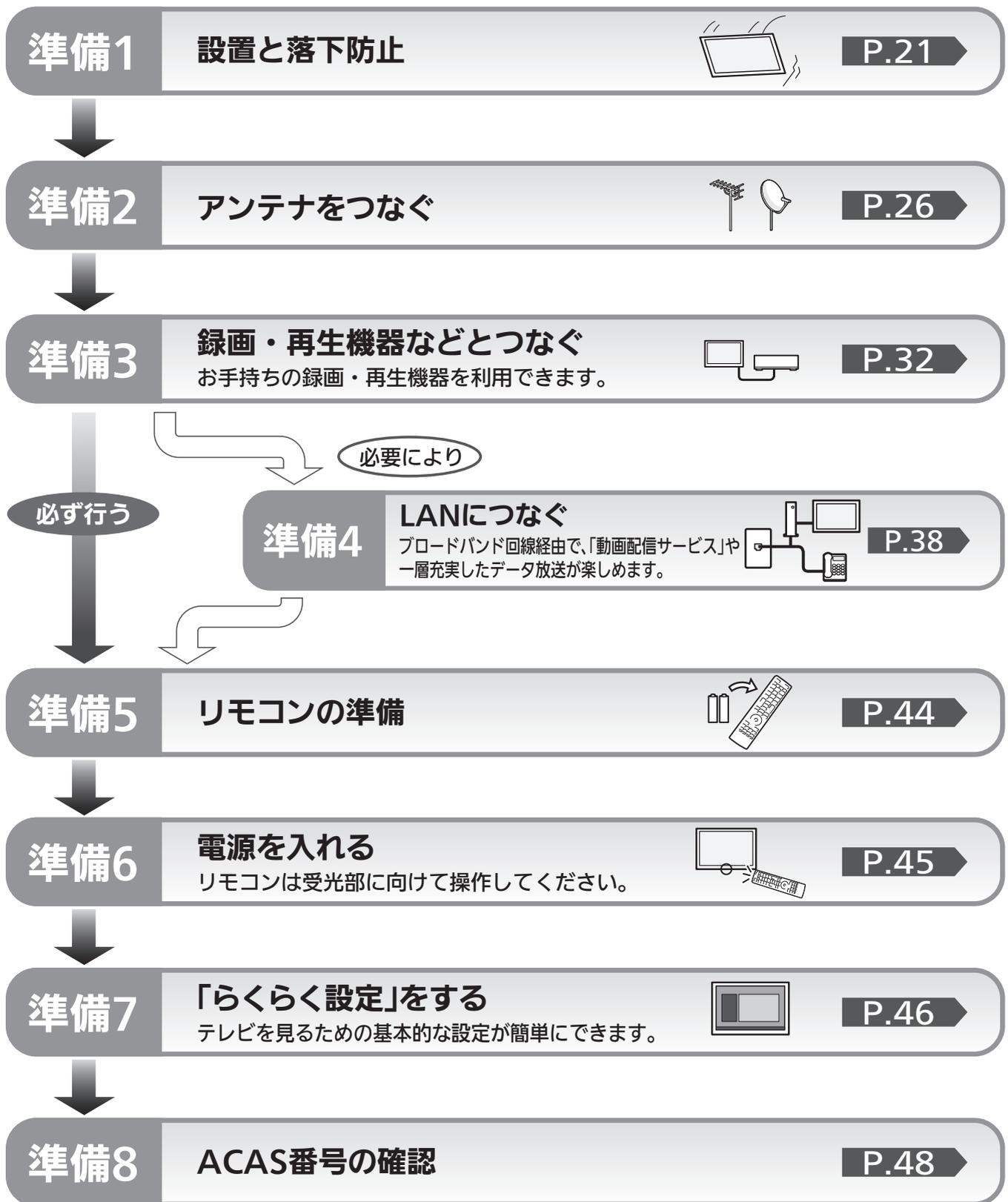
キャリアブル スタンド	型番		ST-HK-0257V2M
	調整角度	横設置	下向き 約0° ~ 約10°
		縦設置 ^{※4}	
取付ネジ (同梱品)		M4x15	

※4: ファクトリー機能については、縦設置には対応しておりません。

各部のなまえ
とはたらき

専用壁掛け金具 [他社製幹旋品]
付属品

テレビを見るまでの準備



準備1 設置と落下を防止する

● 本機の設置についてのお願い

- お願い!**
- 他のデジタル機器や電子レンジなどから出る電磁波によって本機の映像が乱れたり、雑音が出たりすることがあります。相互に影響しない位置に設置してください。
 - 専用スタンドをご使用の際、傾斜面や、水平でない面、カーペットなどの軟らかい面への設置をさけてください。

据付時(壁掛け時)について

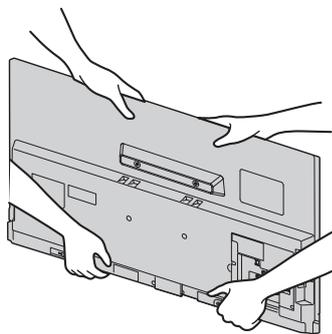
- お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- 液晶テレビの据付け(壁掛け、天吊り設置)は、必ず「お買上げの販売店」または専門業者にご依頼ください。
- 「お買上げの販売店」または専門業者が据付け後に立ち会ってください。操作手順、安全を確保するための正しい使いかたについて、「お買上げの販売店」または専門業者から説明を受けてください。
- 万一落下した場合に備えて、就寝場所や避難障害となる場所に本機を設置しないでください。

移設時について

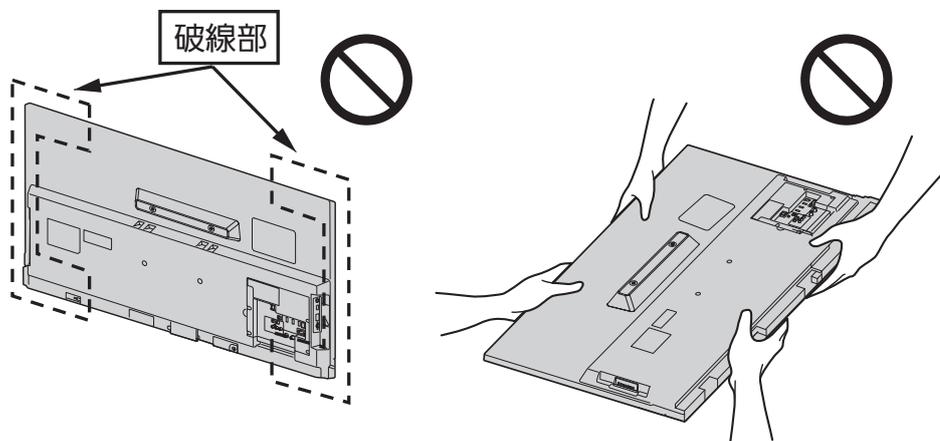
- 増改築・引越しのため液晶テレビを取り外したり、再度据付をするときは、専門の知識と技術が必要です。「お買上げの販売店」または専門業者にご相談ください。

製品の取扱いについて

※製品の開梱や運搬をするときは、下図のように製品を垂直にしたまま保持してください。



※製品の運搬や移動をするときは、製品の破線部の位置を持たないでください。
※水平にしたままで、保持しないでください。



テレビを
見るまでの
準備

設置と落下を防止する
テレビを見るまでの
準備

次ページへつづく

準備1 設置と落下を防止する(つづき)

テレビ本体への壁掛け金具の取り付け

必ず当社指定の専用壁掛け金具、専用スタンドや専用天吊り金具を使用し、設置は必ず「お買上げの販売店」または専門業者に依頼する。

- 専用壁掛け金具、専用スタンドや専用天吊り金具に同梱されている取扱説明書の記載どおりに設置し、専用壁掛け金具、専用スタンドや専用天吊り金具に同梱のネジを必ずご使用ください。
- 専門業者以外の方が取り付けられたり、取扱説明書の記載と異なる取り付けをすると、テレビが落下し、けがの原因になります。指定と異なる取り付けの場合は保証いたしません。
- 当社指定の専用壁掛け金具、専用スタンド、専用天吊り金具に関しては、当社カタログをご覧ください。

用意するもの: プラスドライバー No.2 (柄が細めで長いもの)

※ネジ頭の十字穴にぴったり合ったドライバーをお使いください。十字穴に合わないドライバーをお使いになると、十字穴がつぶれたり、ドライバーの先がつぶれたりしてネジがしっかりしなくなります。
※ネジの取り扱いにはご注意ください。(お子様が飲み込むと危険です。)

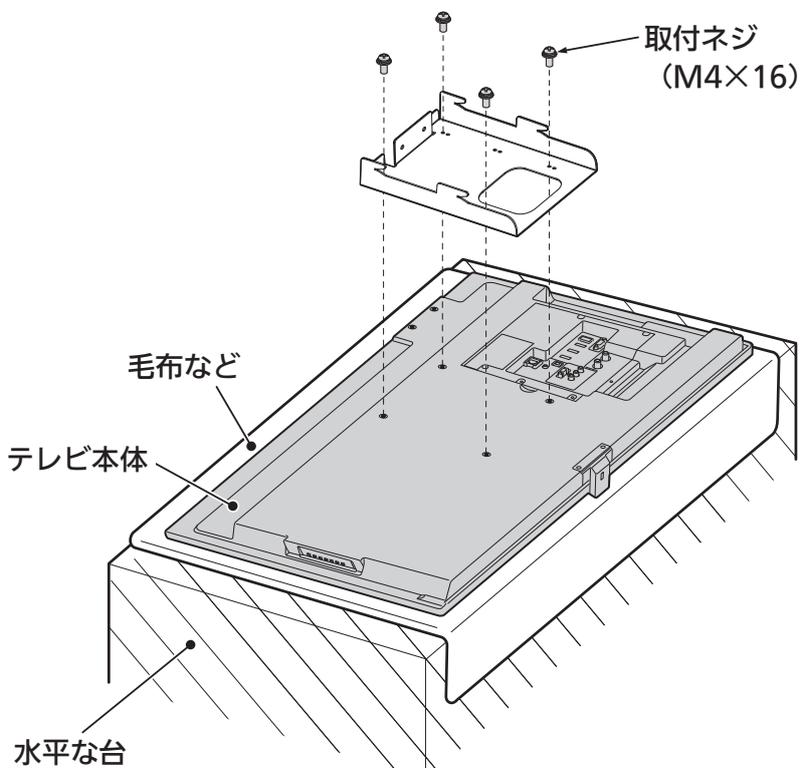
必ず2人以上で作業してください。
作業中は、指をはさまないよう、ご注意ください。

図のようにテレビ本体をふせて置いて、壁掛け金具を取り付ける。

※液晶画面には、さわらないでください。(画面に傷や汚れがつく場合があります。)

※液晶画面前面のダンボールシートは、テレビ本体の壁掛け取り付け作業が完了するまではがさないでください。

※ネジのゆるみがないことをしっかり確認してください。



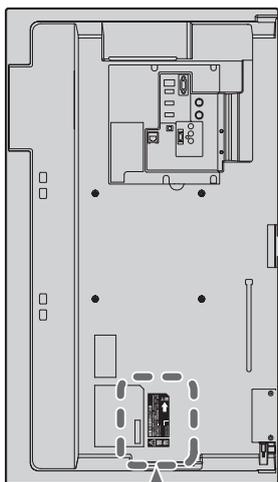
- お願い!**
- 専用壁掛け金具取付位置(✓) P.19 の4ヵ所は、あらかじめネジで固定されています。固定されているネジを取り外してください。取り外したネジを壁掛け金具の固定に使用しないでください。
 - 壁掛け金具を取り付け後、本機を壁に設置する前に、ケーブルなどを接続端子へ取り付けてください。

準備1 設置と落下を防止する(つづき)

縦置き設置について

- 縦置きで使用する場合は、下図のように必ず背面ラベルの矢印が上を向くように設置してください。
- 上下関係は必ず守って設置してください。
- ファクトリー機能については、縦置き設置には対応していません。

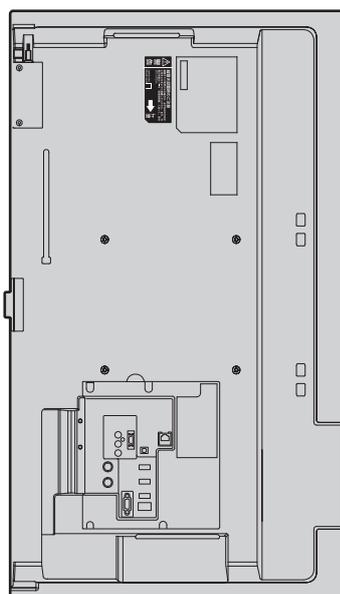
[40V型]



背面ラベル



- 逆方向では絶対に使用しないでください。故障の原因になります。
- 上下さかさまや下向き、仰向き、横倒しでのご使用は保証いたしません。



禁止

落下防止についてのお願い

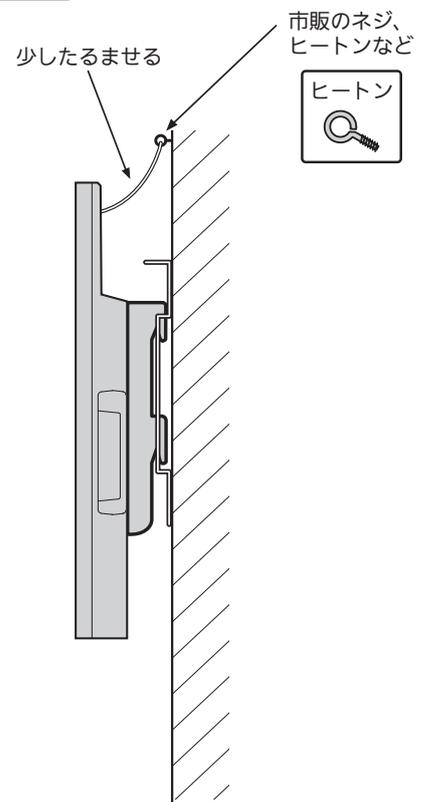
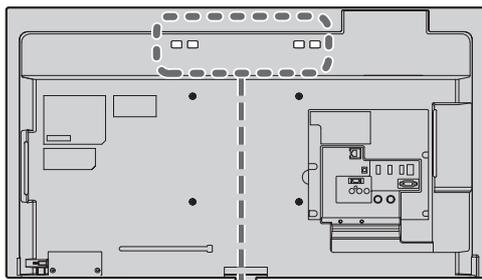
⚠ 注意

衝撃などで本機が落下すると、けがの原因になることがあります。工場またはそれに準ずる場所での安全確保のために、設置場所が決まったら次の処置をお願いします。次の処置内容は、振動や衝撃での製品の落下によるけがなどの危害を軽減するためのものです。すべての地震等に対してその効果を保証するものではありません。

壁や柱などの安定した場所への固定

下図のように本機を壁や柱などの安定した場所に本機の重さに耐えられる丈夫なひも(市販品)で確実に取り付けてください。

[40V型] 2カ所



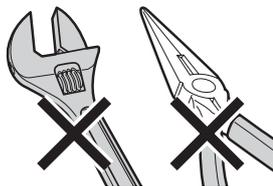
 **お願い!** ひも、ネジなどの取り付けは確実に行ってください。

準備2 アンテナをつなぐ

本機はデジタル回路を多く内蔵していますので、きれいな映像でご覧いただくためにはアンテナの接続が重要です。
P.26~31 の図を参考にして、あてはまる接続を確実に行ってください。

アンテナ接続時のご注意

アンテナケーブルのプラグ(F型接栓)は**まっすぐ**に差し込み、ネジはゆるまない程度に**手で**締めつけてください。工具などを使うと締めつけすぎて本機内部を破損するおそれがあります。
破損すると修理が必要になります。



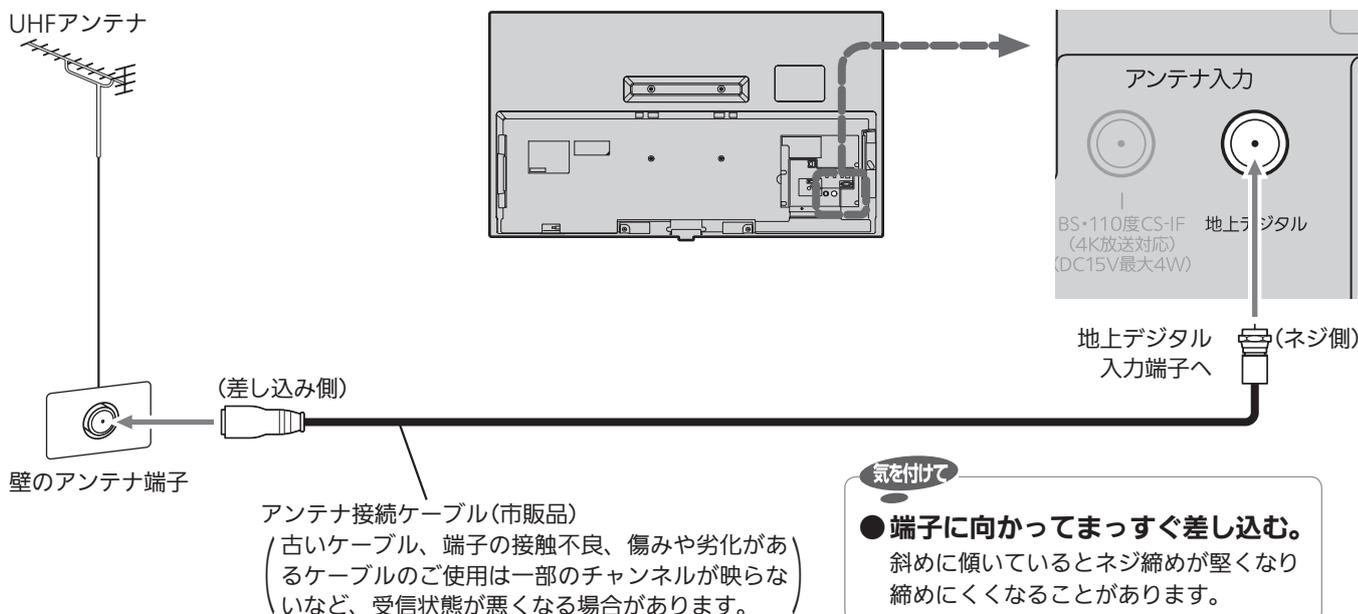
アンテナケーブルは芯線が曲がっていないか確認してから差し込んでください。曲がったままでは折れたり、ショートするおそれがあります。
芯線が折れるとケーブルの交換が必要になります。



曲がっている

UHFアンテナ 地上デジタル放送を見る時

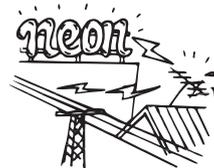
- 地上デジタル放送をご覧になるためには、UHFアンテナとの接続が必要です。
- ご使用中のUHFアンテナでも一部の地上デジタル放送を受信できる場合があります。くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。



ある放送局だけ映りが悪い、ある部屋だけ映りが悪いなどの症状があるときは、「屋内配線も重要です」
P.49 をご覧ください。

アンテナの場所

妨害電波の影響をさけるため交通の煩雑な道路、電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離してください。
万一アンテナが倒れた場合の事故を防ぐためにも有効です。なおアンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。



アンテナの定期的な点検・交換を

アンテナは屋外にあるため傷みやすく性能が低下します。映りが悪い時は販売店にご相談ください。

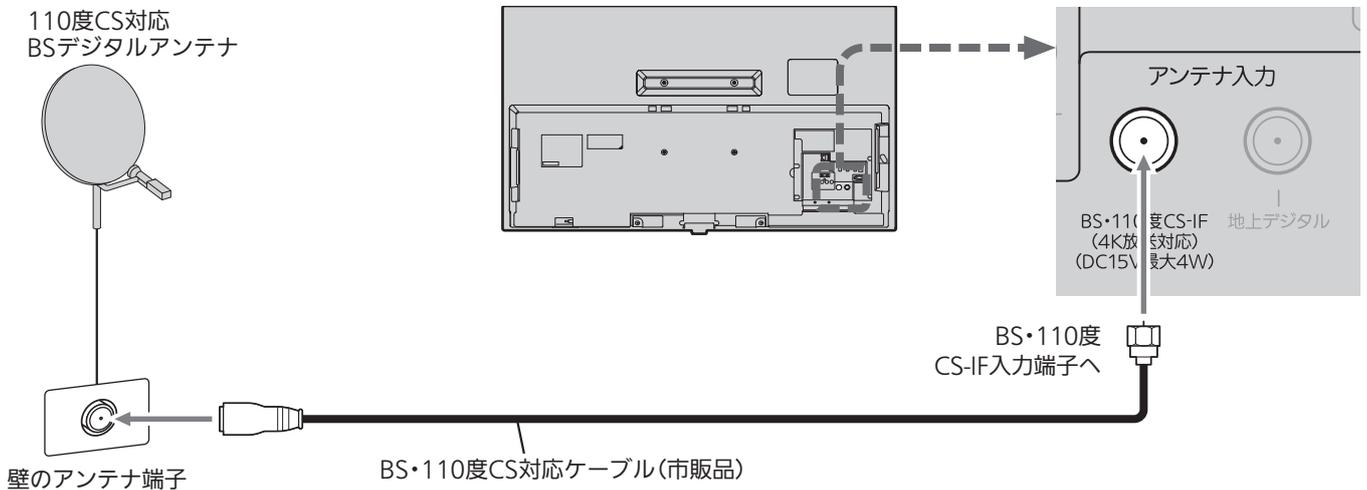


BS・110度CSアンテナ BSデジタル・110度CSデジタル放送を見るとき

アンテナは、110度CS対応のBSデジタルアンテナをご使用ください。
ケーブルや分配器などは、110度CS帯域に対応しているものをご使用ください。

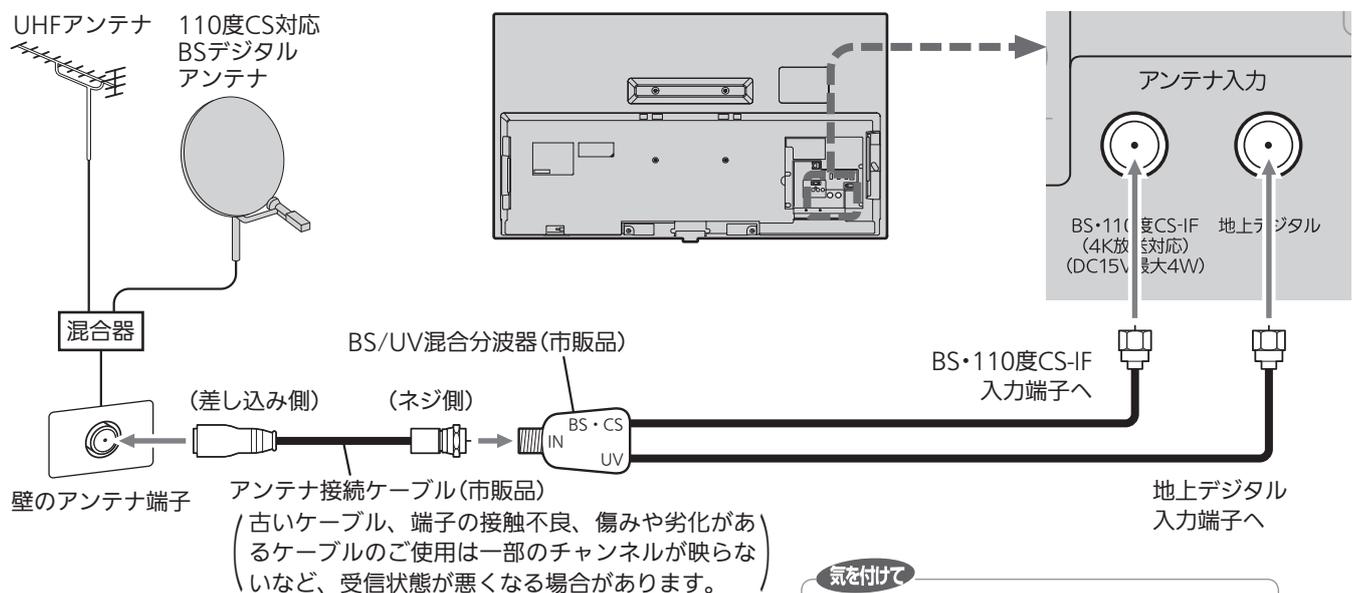
- **BS・110度CSアンテナの設置には、技術と経験が必要です。**
BS・110度CSアンテナをお買上げの販売店にご相談ください。
設置のしかたについては、BS・110度CSアンテナの取扱説明書をご覧ください。
- **BS・110度CSアンテナが正しい方向や角度でないと、衛星放送は見られません。**
BS・110度CSアンテナの取扱説明書をよく読んで、方向・角度を調整してください。
- **BS・110度CSアンテナをつなぐときは、本機の電源プラグを抜いてください。**

お知らせ アンテナ線がショートしている状態でアンテナ電源を「入」に設定すると、保護回路がはたらき、自動的に「切」に切り換わります。アンテナ線の買換え、修理については、販売店にご相談ください。



UHF/BS・110度CS混合のとき

(マンションの共同受信など)



気を付けて

- **端子に向かってまっすぐ差し込む。**
斜めに傾いているとネジ締めが堅くなり締めにくくなる場合があります。

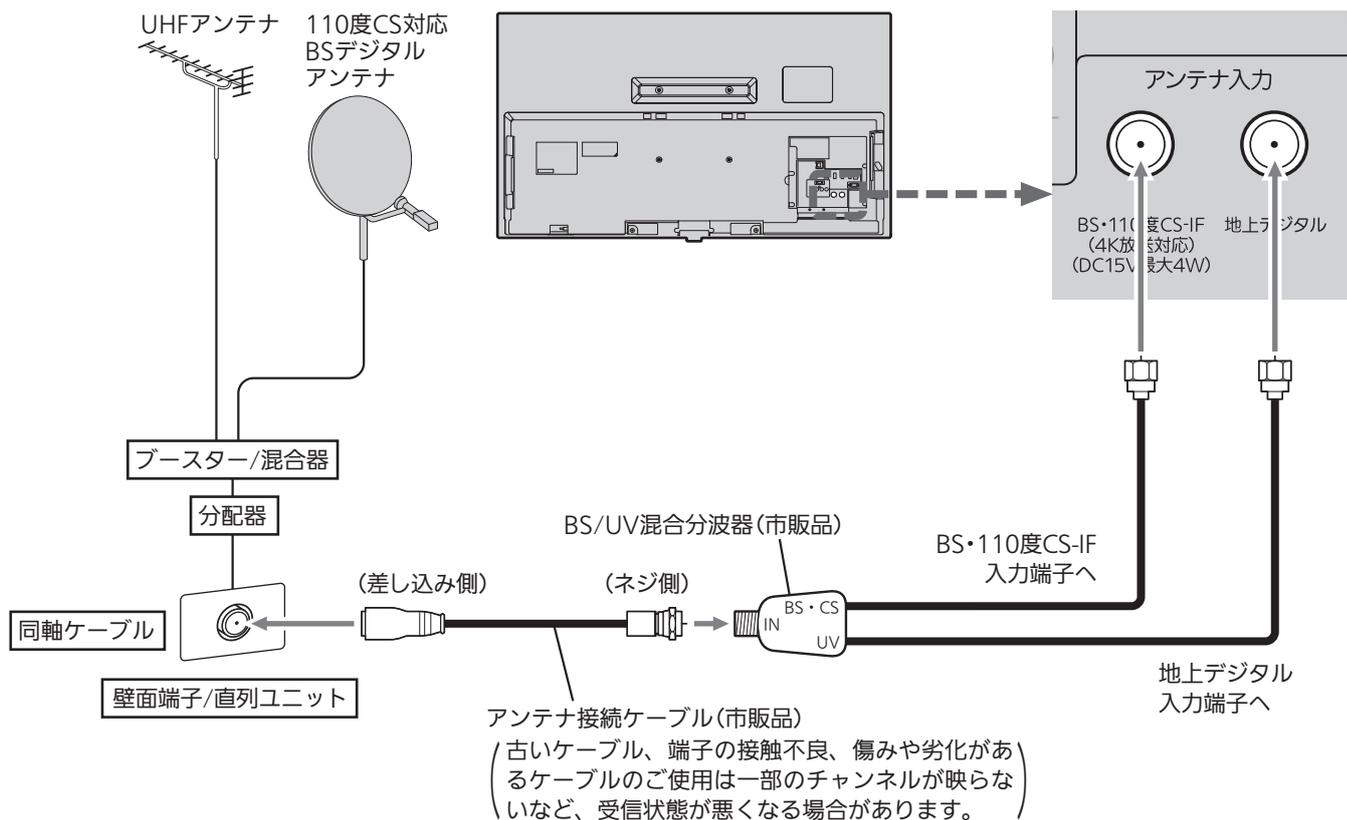
準備2 アンテナをつなぐ(つづき)

BS・110度CSアンテナ BS4K・110度CS4K放送を見るとき

- 本機は、新4K8K衛星放送のBS4Kと110度CS4Kに対応しています。

現在ご使用のBS・110度CSアンテナ設備で視聴するとき

BS右旋で放送されます放送を見ることがありますが、安定して視聴するには、アンテナなどの受信設備の確認が必要となります。



気を付けて

- 端子に向かってまっすぐ差し込む。
斜めに傾いているとネジ締めが堅くなり締めにくくなる場合があります。

新しいBS・110度CSアンテナ設備で視聴するとき

BS右旋のほか、BS左旋および110度CS左旋の4K放送を視聴する場合は、右旋・左旋対応のアンテナへの交換のほか、ブースター、分配器、分波器、壁面端子、配線用の同軸ケーブルなども対応機器へ交換する必要があります。

機器は、SHマーク登録品(スーパーハイビジョン受信マーク)のご使用をおすすめします。

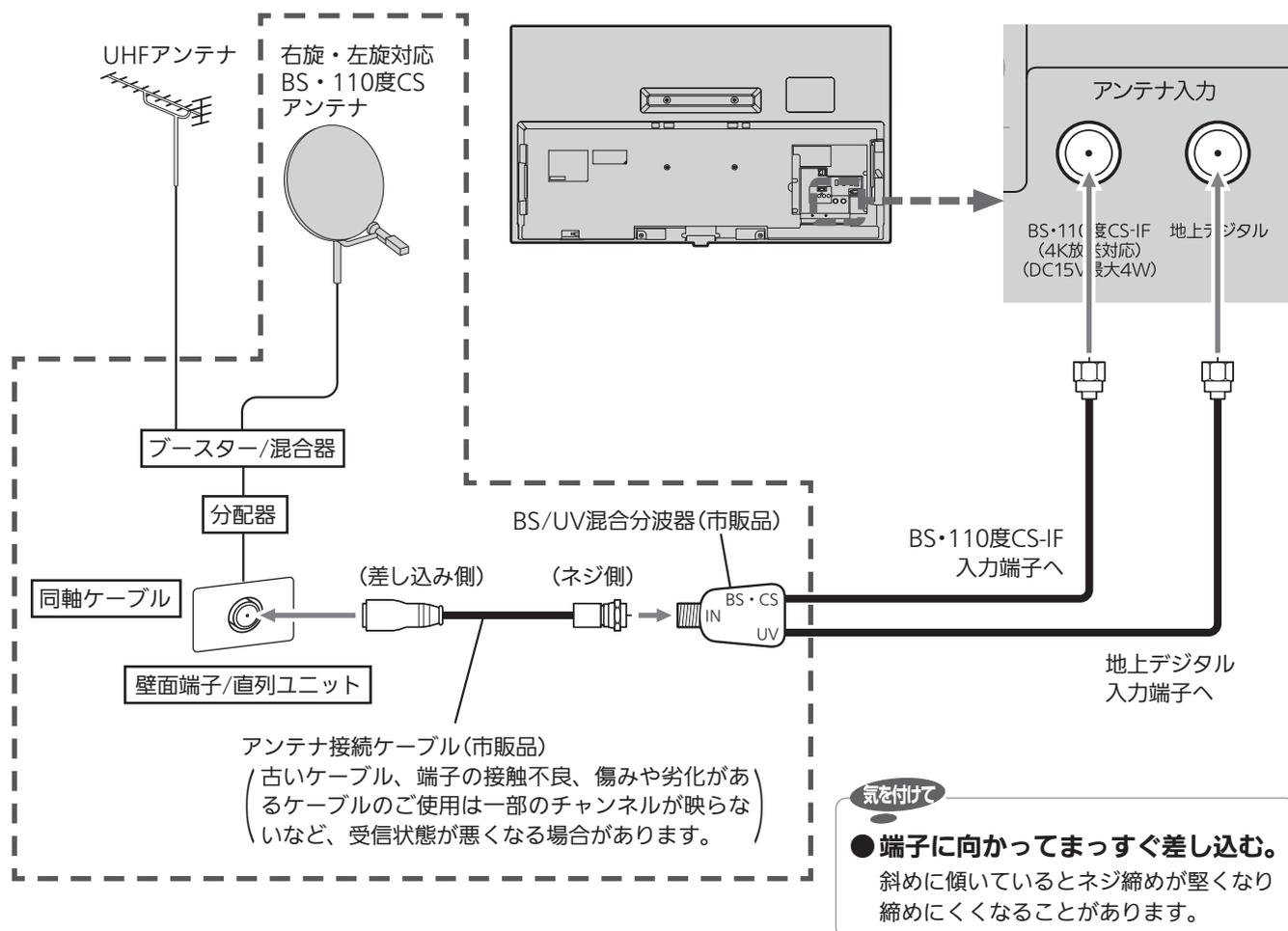


テレビを
見るまでの
準備

アンテナをつなぐ

- **右旋・左旋対応BS・110度CSアンテナの設置には、技術と経験が必要です。**
右旋・左旋対応BS・110度CSアンテナをお買い上げの販売店にご相談ください。
設置のしかたについては、右旋・左旋対応BS・110度CSアンテナの取扱説明書をご覧ください。
- **右旋・左旋対応BS・110度CSアンテナが正しい方向や角度でないと、衛星放送は見られません。**
右旋・左旋対応BS・110度CSアンテナの取扱説明書をよく読んで、方向・角度を調整してください。
- **右旋・左旋対応BS・110度CSアンテナをつなぐときは、本機の電源プラグを抜いてください。**

お知らせ アンテナ線がショートしている状態でアンテナ電源を「入」に設定すると、保護回路がはたらき、自動的に「切」に切り換わります。アンテナ線の買換え、修理については、販売店にご相談ください。



SHマーク(スーパーハイビジョン受信マーク)は、BS・110度CS右左旋放送受信帯域に対応した機器のうち、一般社団法人電子情報技術産業協会が審査・登録され、一定以上の性能を有するスーパーハイビジョン衛星放送受信に適した衛星アンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

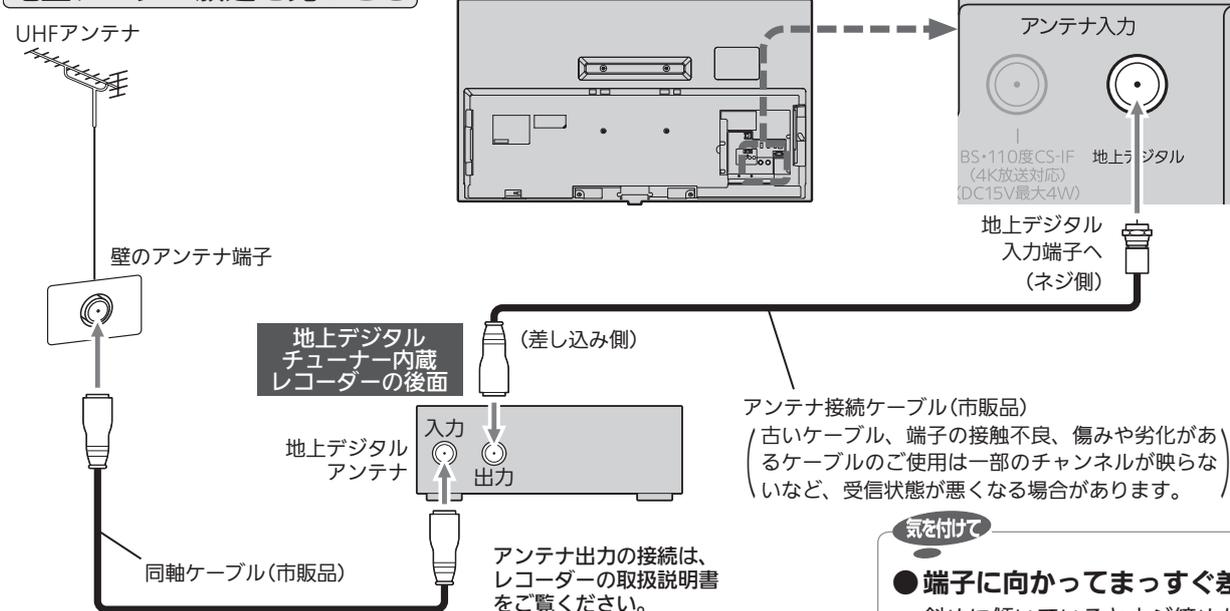
お知らせ

本機は、新4K8K衛星放送の8K放送には、対応していません。

準備2 アンテナをつなぐ(つづき)

レコーダーを通して接続するとき

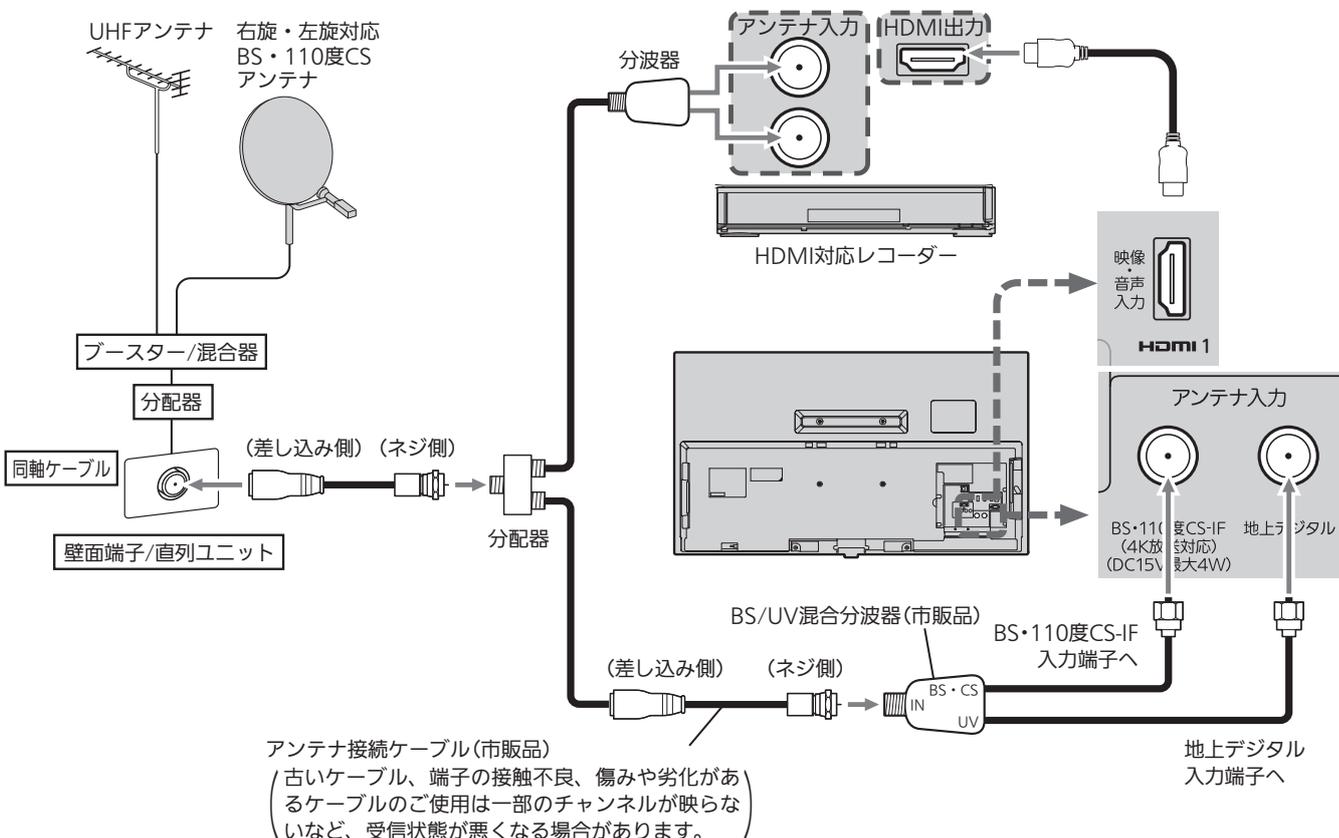
地上デジタル放送を見るとき



BS4K・110度CS4K放送を見るとき

BS右旋のほか、BS左旋および110度CS左旋の4K放送を視聴する場合は、右旋・左旋対応のアンテナへの交換のほか、ブースター、分配器、分波器、壁面端子、配線用の同軸ケーブルなども対応機器へ交換する必要があります。

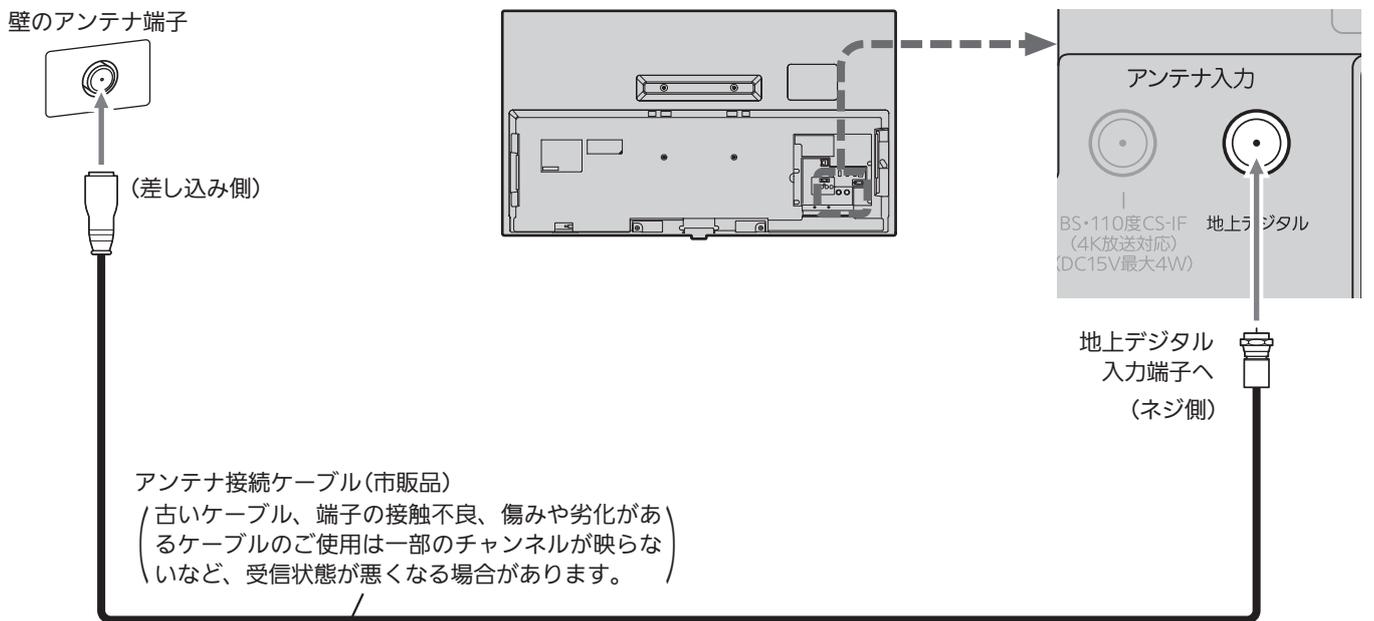
4K放送非対応のHDMI対応レコーダーを壁面端子/直列ユニットと本機のアンテナ入力との間に接続しないでください。その場合は、下記のように並列して接続してください。



4K放送対応機器は、SHマーク登録品(スーパーハイビジョン受信マーク)のご使用をおすすめします。



● CATV(ケーブルテレビ)パススルーのとき



代表的な接続方法を記しています。
くわしくはCATV会社へお問い合わせください。

気を付けて

- 端子に向かってまっすぐ差し込む。
斜めに傾いているとネジ締めが堅くなり
締めにくくなる場合があります。

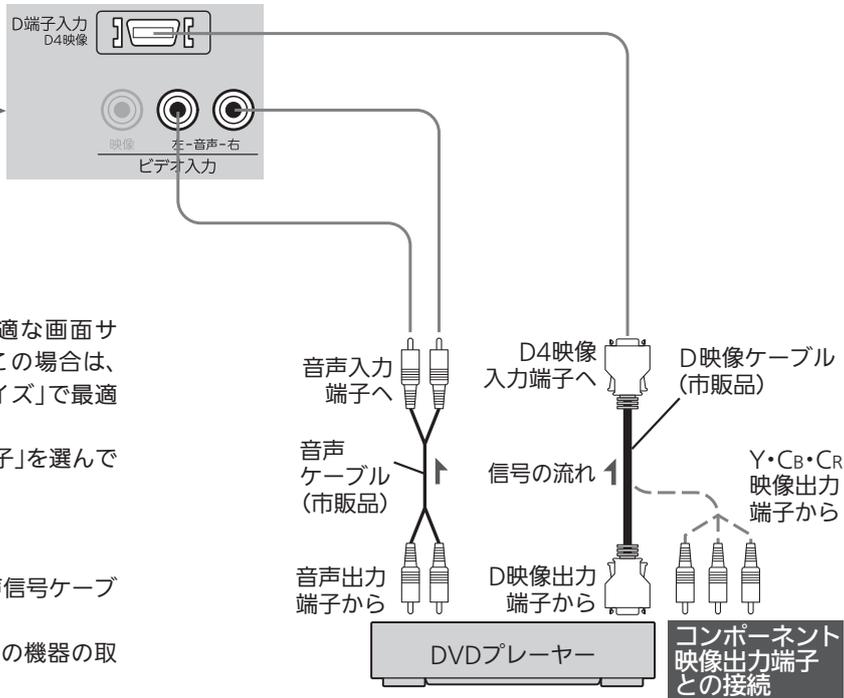
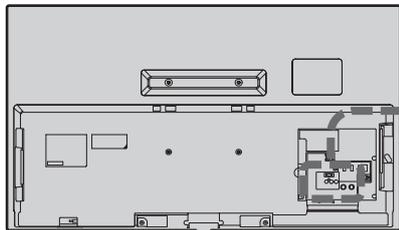
テレビを
見るまでの準備

アンテナをつなぐ

準備3 他の機器とつなぐ

DVDプレーヤーとの接続

例:「D端子入力」に接続する



お知らせ

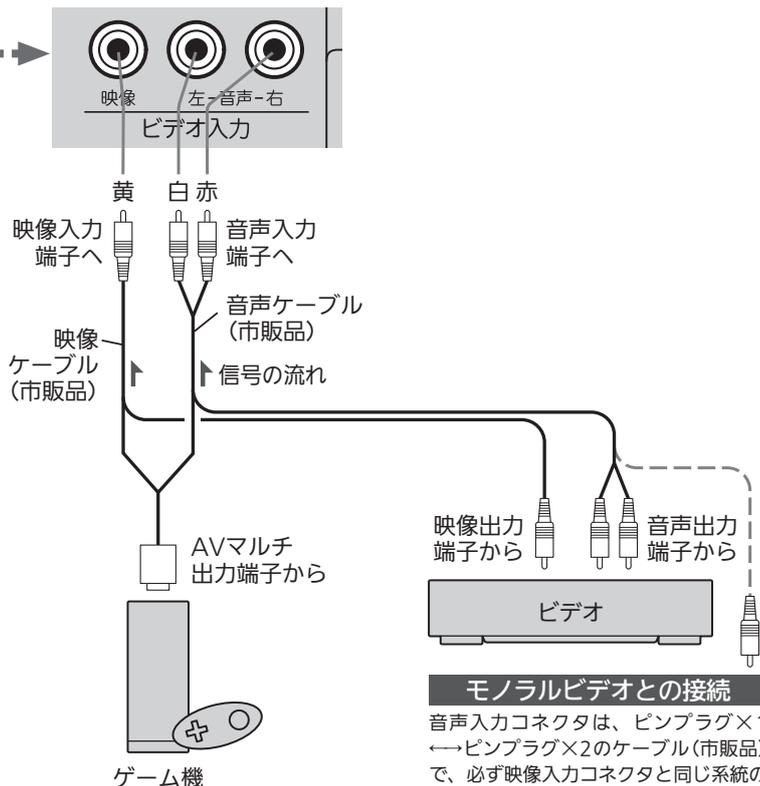
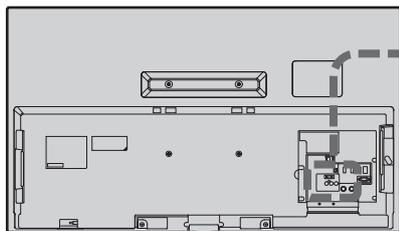
- コンポーネント映像端子との接続では、最適な画面サイズが自動選択されない場合があります。この場合は、「メニュー」→「今すぐできること」→「画面サイズ」で最適な画面サイズを選んでください。
- つないだ機器で見るときは、入力切替で「D端子」を選んでください。

お願い!

- D端子ケーブルなどの映像信号ケーブルと音声信号ケーブルは、束ねてご使用ください。
- DVDプレーヤーの接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。
- DVDプレーヤー側のテレビ画面モードの設定を16:9にしてください。4:3(レターボックス、パンスキャン)に設定されていると適正な画面サイズで見ることができません。

ビデオ/ゲーム機との接続

例:「ビデオ入力」に接続する



お知らせ

- ビデオの特殊再生機能(早送り、一時停止など)を使うと映像が乱れることがあります。
- つないだ機器で見るときは、入力切替で「ビデオ」を選んでください。
- ゲーム機により接続ケーブルの形状が異なる場合があります。ケーブルの形状にあった端子をご使用ください。P.35 その場合、ゲーム機側の設定が必要な場合がありますのであわせてゲーム機の取扱説明書をご覧ください。

お願い!

ビデオ側の接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

モノラルビデオとの接続

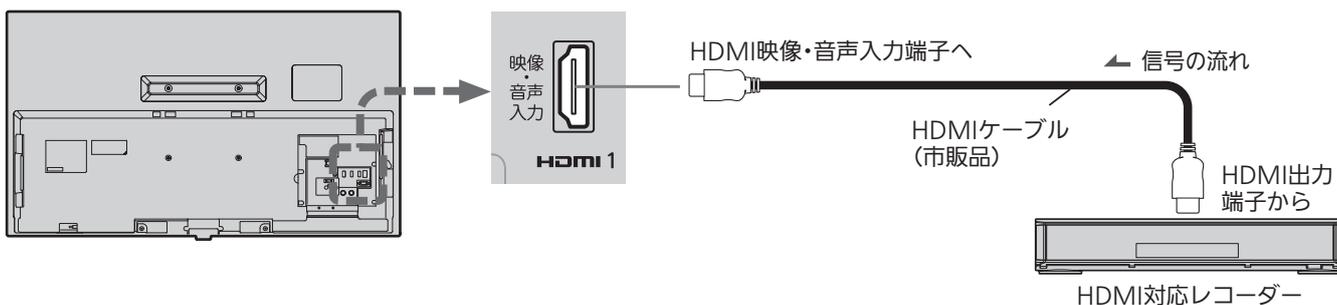
音声入力コネクタは、ピンプラグ×1 ↔ピンプラグ×2のケーブル(市販品)で、必ず映像入力コネクタと同じ系統の左と右の両方も接続します。

HDMI機器との接続

映像・音声信号を1本のケーブルでつなぐことができます。
リアリンク対応レコーダーでリンク録画他リアリンク機能をお使いになるには、この接続を行ってください。
リアリンク機能については、下記の解説をご覧ください。

リアリンク対応レコーダーには、**REALINK** ロゴマークが付いています。

例：リアリンク対応レコーダーを「HDMI1入力」に接続する



テレビを
見るまでの
準備

他の機器とつなぐ

お知らせ

- 対応している映像信号・音声信号については、別紙「取扱説明書（ファクトリー機能編）」の「仕様」をご覧ください。
- HDMI対応機器の映像や音声を楽しむときは、入力切替で「HDMI1」（または「HDMI2」～「HDMI4」）を選んでください。
- 非対応の信号を入力すると、映像が出なかつたり映像が乱れることがあります。接続機器側の設定には十分ご注意ください。
- HDMI出力端子付きパソコンを接続するときは、HDMI規格に適合した信号が出力されるようパソコンを設定のうえご使用ください。
- DVI出力端子付きパソコンを接続するときは、HDMI-DVI変換ケーブル（市販品）でHDMI2入力に接続し、音声ケーブル（市販品）をすぐ下の音声入力に接続し、HDMI2アナログ音声入力を「入」に設定します。

お願い!

- HDMIケーブルはHDMI規格認証されたハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。
- 4K映像を楽しむためには、「プレミアムHDMIケーブル認証」を取得した18Gbps対応のHDMIケーブルをご使用ください。映像音声が表示されないときは「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「入出力設定」→「HDMI 4K入力信号設定」のHDMI画質を「通常」に設定してください。くわしくは、「使いかたガイド」をご覧ください。
- HDMI対応機器の接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

リアリンク (REALINK) について

HDMIケーブルで接続された機器間では、HDMIの制御信号規格 (CEC: Consumer Electronics Control) に基づき、相互で操作を行う (リンク) することができます。特に当社製機器相互で操作を行うことを「リアリンク (REALINK)」と称しています。
リアリンク対応のレコーダーをHDMI接続して、「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「リンク設定」の「リンク制御」を「入」に設定していると、本機のリモコンで次のような操作ができます。(仕様は予告なく変更することがあります。)

- メインメニューに「リンク機器操作」を表示し、その接続機器を操作できます。(操作できる内容は、接続した機器によって異なります。)
- 「メニュー」→「リンク機器操作」→「操作パネル」を選ぶと画面に「操作パネル」を表示し、その接続機器を操作できます。
- リアリンク対応レコーダーに録画予約ができます。

お知らせ

- 他社製の機器をHDMI接続した場合、リアリンク対応機器と認識し、メニューに「リンク機器操作」などの表示が出て、接続機器側の操作の一部ができることがありますが、その動作につきましては保証の対象ではありません。
- HDMI1～4入力共にリアリンク対応機器を接続したときは、番号の小さい方から優先されます。

お願い!

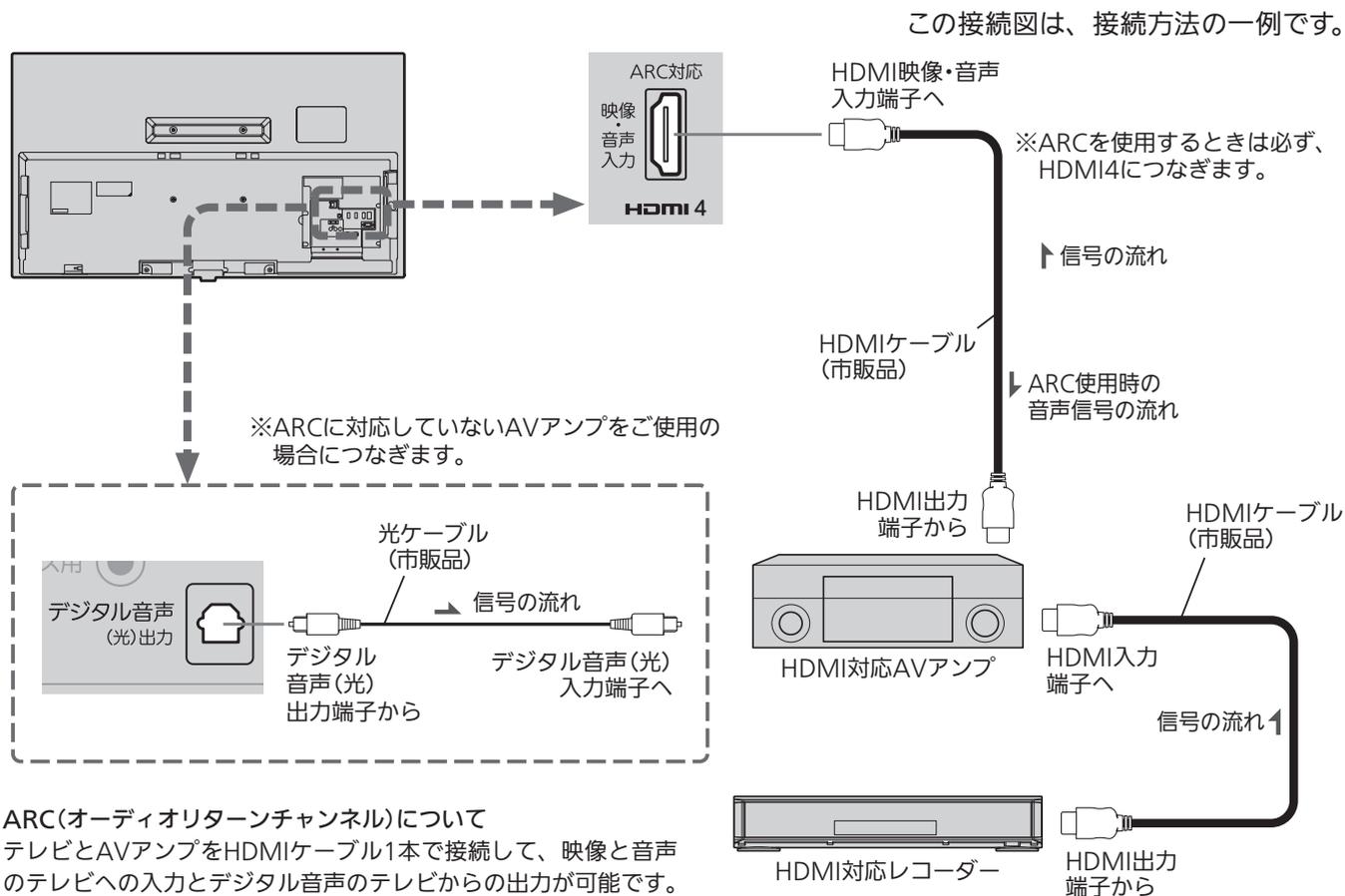
- HDMI端子の接続を変更した場合 (HDMI1入力からHDMI2入力に差し替えた場合など) は、本機の電源を入れ直して入力切替で変更後のHDMI入力を選んで、リアリンク機器からの映像が映っていることを確認してください。
- リアリンク対応機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- リアリンク機能を中止するために「リンク制御」を「切」にした場合は、本機の電源を入れ直してください。

準備3 他の機器とつなぐ(つづき)

例：HDMIコントロール対応AVアンプを「HDMI4入力」に接続する

本機のリモコンで、HDMIコントロールに対応したAVアンプの音量調節ができます。接続後は、「リンク制御」を「入」に設定します。

さらに、光ケーブル、HDMIケーブルで接続したときは、AVアンプに合わせて「光音声/ARC出力設定」が必要です。また、HDMIケーブルで接続する場合は、AVアンプがARC(オーディオリターンチャンネル)に対応している必要があります。

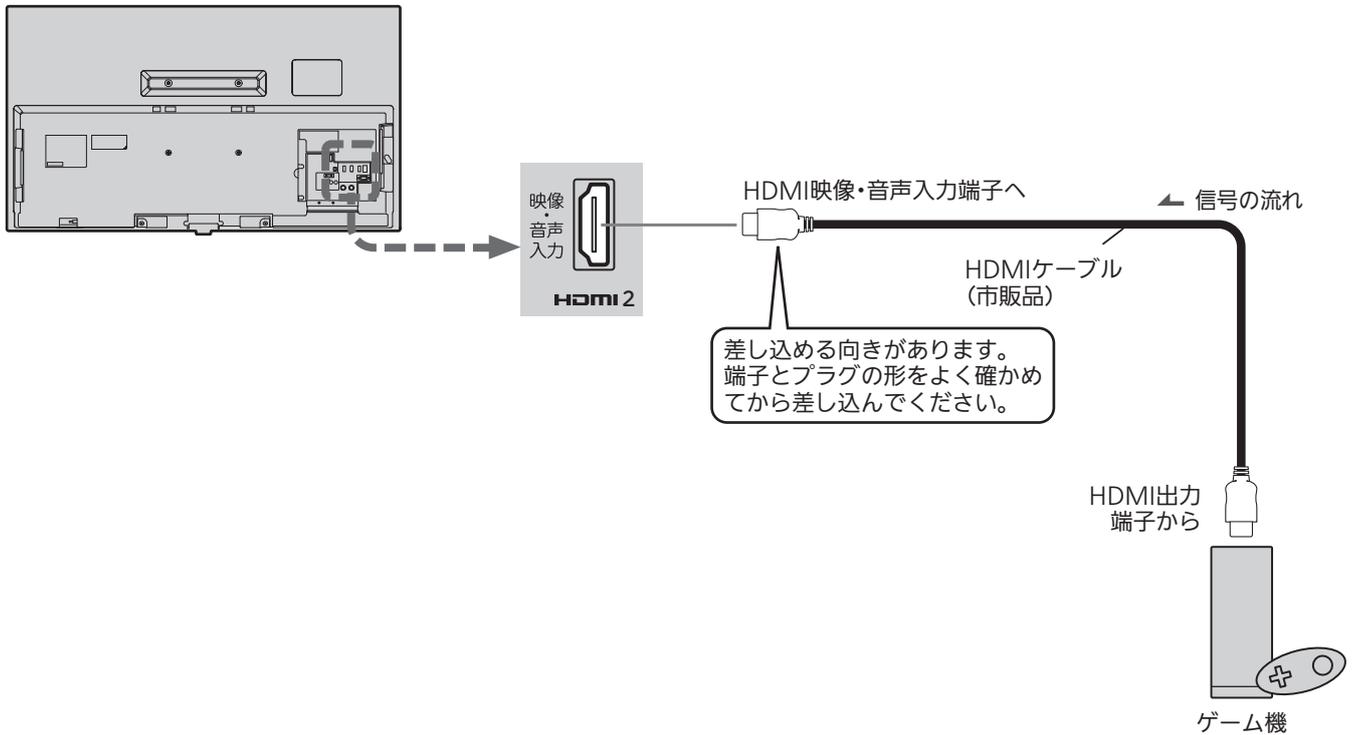


ARC(オーディオリターンチャンネル)について
テレビとAVアンプをHDMIケーブル1本で接続して、映像と音声のテレビへの入力とデジタル音声(光)のテレビからの出力が可能です。光デジタルケーブルが不要になります。テレビもAVアンプもARCに対応している必要があります。

お願い!

- HDMIケーブルはHDMI規格認証されたハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。
- 4K映像を楽しむためには、「プレミアムHDMIケーブル認証」を取得した18Gbps対応のHDMIケーブルをご使用ください。映像音声が表示されないときは「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「入出力設定」→「HDMI 4K入力信号設定」のHDMI画質を「通常」に設定してください。くわしくは、「使いかたガイド」をご覧ください。
- HDMIコントロール対応AVアンプをつないだときは、レコーダーなど周辺機器はAVアンプと接続してください。周辺機器からのサラウンドやデジタル音声出力でお聞きになれます。
- HDMIコントロール対応AVアンプをつないだときは、デジタル音声(光)出力もAVアンプと接続してください(ARC対応のAVアンプでARCを使用するときは接続不要です)。AVアンプに電源が入っているとき、本機の音声が消音される場合がありますのでAVアンプで本機の音声を聞けるようにします。この場合でもリモコンの消音ボタンで消音になります。
- ARCを使用するためには、ARC対応のAVアンプが必要です。また、AVアンプ側の設定が必要な場合があります。
- ARCを使用するときは必ず、HDMI4につないでください。
- ARCを使用するときも、本機とつなぐHDMIケーブルのAVアンプ側はHDMI出力に接続してください。
- AVアンプにリアリンク対応機器をつなぐときは、AVアンプの電源が「切」になっているとリアリンク機能が使えない場合があります。「入」や「スタンバイ」にしてください。
- テレビに映像を映すために、AVアンプ側の設定が必要な場合があります。
- AVアンプを含め、接続する他の機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- HDMIコントロール対応機器は製品ごとに接続方法や動作が異なりますので機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

例:HDMI対応ゲーム機を「HDMI2入力」に接続する



テレビを
見るまでの準備

他の機器とつなぐ

お知らせ

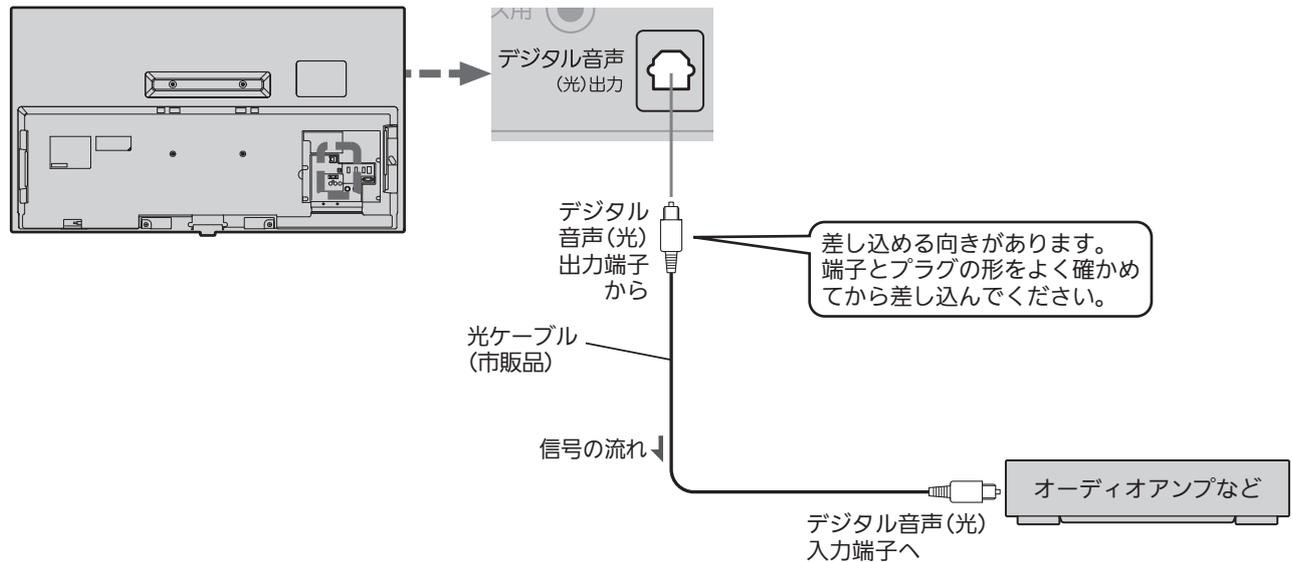
ゲーム機側の設定を間違えると画像が映らなくなり設定変更ができなくなる場合がありますので、ゲーム機の取扱説明書をよく読み正しく設定してください。

準備3 他の機器とつなぐ(つづき)

デジタル音声(光)入力対応のオーディオ機器との接続

デジタル音声(光)入力対応のオーディオ機器を接続すると、今見ている番組のマルチチャンネル音声を楽しむことができます。また番組によって録音することもできます。

接続後は、接続先に合わせて「光音声/ARC出力設定」が必要です。設定のしかたについては、「使いかたガイド」をご覧ください。



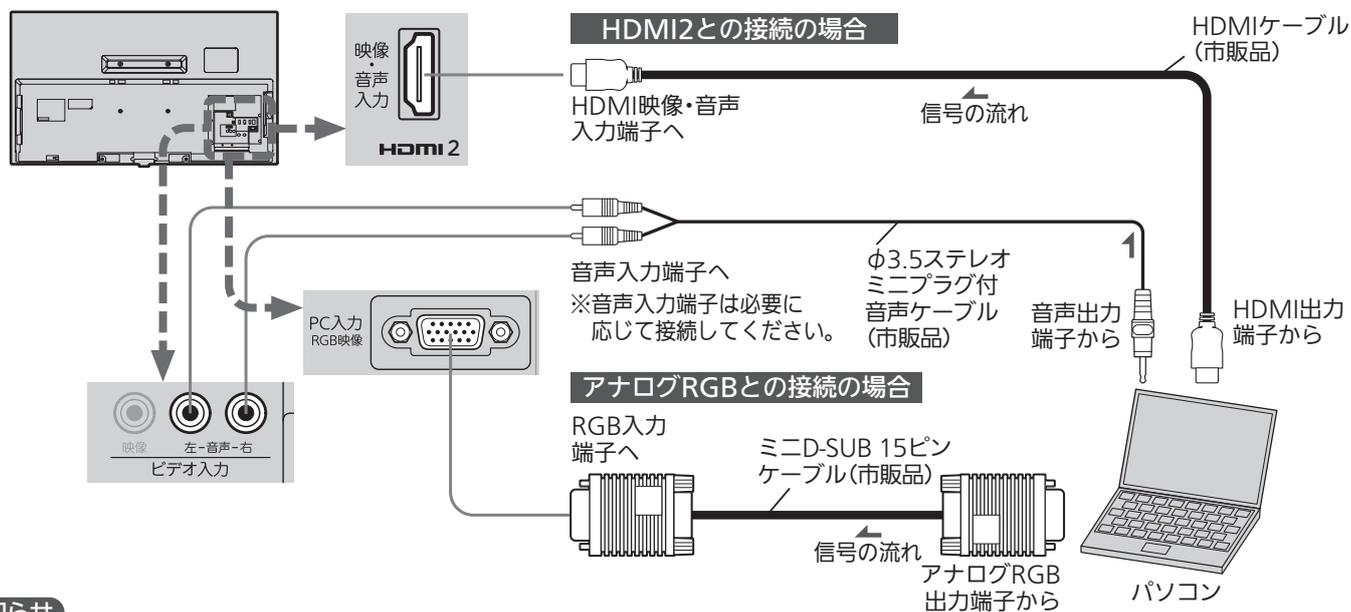
お知らせ

- 接続できるオーディオ機器は、ビットストリームまたはPCMに対応したアンプやMDなどで、デジタル音声(光)入力端子を持つ機器です。
- PCMとは、Pulse Code Modulationの略称でCDなどで使われている2chのデジタル信号です。
- 外部オーディオアンプを使って音声を聞くときは、本機の音量を「0」にしてください。

お願い!

- 接続前に本機とオーディオ機器の電源を必ず切ってください。
- 接続するオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

パソコンとの接続



お知らせ

- 画像をテレビに映すために、パソコン側の設定が必要な場合があります。パソコンの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 接続するパソコンの種類によっては、変換コネクタや出力アダプタなどが必要な場合があります。
- 音声を接続する場合、パソコン側で先に音量を適当に調整してください。
- アナログRGB接続したパソコンを使うときは、入力切替で「PC」を、HDMI接続で使うときは、入力切替で「HDMI2」(HDMI1に接続した場合は「HDMI1」)を選んでください。
- テレビの電源プラグを抜いた状態でパソコンの電源を先に立ち上げると、映像が正しく表示されない場合があります。
- アナログRGB接続のとき
 - ・ 画面の位置・大きさが適切でなかったり、文字のジミがある場合は、「メニュー」→「設定」の「PC設定」で調整してください。
 - ・ PC入力端子に信号が入力されていない場合は、メニューの「PC設定」に入ることができません。
- HDMI接続のとき
 - ・ HDMI接続時の音声は接続されるパソコンにより音声端子との接続が必要な場合があります。パソコンの取扱説明書もあわせてご覧ください。
 音声接続をする場合は、「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「入出力設定」→「HDMI2アナログ音声入力」を「入」に設定してください。

お願い

- 接続前にテレビとパソコンの電源を必ず切ってください。
- 接続するパソコンの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 接続するパソコンの仕様によっては正常に表示できない場合があります。
- HDMIケーブルはHDMI規格認証されたハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。
- 4K映像を楽しむためには、「プレミアムHDMIケーブル認証」を取得した18Gbps対応のHDMIケーブルをご使用ください。映像音声が正しく表示されないときは「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「入出力設定」→「HDMI 4K入力信号設定」のHDMI画質を「通常」に設定してください。くわしくは、「使いかたガイド」をご覧ください。
- HDMI接続と同時に音声入力端子を使用するときは必ず、HDMI2につないでください。

アナログRGB入力対応信号表

解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	同期極性	
				H	V
800×600 SVGA	60	37.879	60.317	P	P
1024×768 XGA	60	48.363	60.004	N	N
1280×720 720p	60	45.000	60.000	P	P
1280×800 WXGA	60	49.702	59.810	N	P
1280×1024 SXGA	60	63.981	60.020	P	P
1360×768 WXGA	60	47.712	60.015	P	P
1600×900 HD+	60	60.000	60.000	P	P
1920×1080 1080p	60	67.500	60.000	P	P

表の6項目すべてが一致していないと、表示位置が片寄ったり、画面がぼけることがあります。

HDMI入力対応信号表

解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセルクロック (MHz)	同期極性	
					H	V
800×600 SVGA	60	37.879	60.317	40.000	P	P
1024×768 XGA	60	48.363	60.004	65.000	N	N
1280×720 720p	60	45.000	60.000	74.250	P	P
1280×1024 SXGA	60	63.981	60.020	108.000	P	P
1360×768 WXGA	60	47.712	60.015	85.500	P	P
1600×900 HD+	60	60.000	60.000	108.000	P	P
1920×1080 1080p	60	67.500	60.000	148.500	P	P
3840×2160 2160p	60	135.000	60.000	594.000	P	P

表の7項目すべてが一致していないと、表示位置が片寄ったり、画面がぼけることがあります。

準備4 LANにつなぐ

データ放送を行っている放送局との双方向通信は、ブロードバンド環境(FTTH、ADSL、CATVなど)をお持ちの場合、本機の無線LANまたはLAN端子を使用することにより一層充実したデータ放送サービスなどを楽しむことができます。サービスの詳細は各放送局にお尋ねください。「動画配信サービス」を利用するためにはブロードバンド環境が必要です。家庭内ネットワーク機能を利用するときも、無線LANまたはLAN端子につながります。

既にブロードバンド環境をお持ちの場合

■ まず、次のことをご確認ください。

- 回線業者やプロバイダとの契約
- 必要な機器の準備
- FTTH回線終端装置、またはADSLモデムやブロードバンドルーターなどの接続と設定

■ 回線の種類や回線業者、プロバイダにより、必要な機器と接続方法が異なります。

- FTTH回線終端装置、またはADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線業者やプロバイダが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きADSLモデムなどの設定はできません。パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
- 必ず電気通信事業法に基づく認定品ルーター等に接続してください。

● FTTH(光ファイバー)回線をご利用の場合

- 接続方法などご不明な点につきましては、プロバイダや回線業者へお問い合わせください。

● ADSL回線をご利用の場合

- ブリッジ型ADSLモデムをお使いの場合は、ブロードバンドルーター(市販品)が必要です。
- USB接続のADSLモデムをお使いの場合などは、ADSL事業者にご相談ください。
- プロバイダや回線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
- ADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のADSL事業者やプロバイダにお問い合わせください。
- ADSLの接続については、専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。

● CATV(ケーブルテレビ)回線をご利用の場合

- 接続方法などご不明な点につきましては、ケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

ブロードバンド環境をお持ちでない場合

■ まず、ブロードバンド環境が必要です。

- プロバイダおよび回線業者と別途ご契約(有料)をしていただく必要があります。くわしくは、プロバイダまたは回線業者にお問い合わせください。

● 接続についてのお願い

- LANケーブルは、10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-Tタイプのものご使用ください。
- LANケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があり、回線終端装置、またはモデムやルーターなどの種類によって使用するものが異なります。くわしくは、回線終端装置、またはモデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 電話回線のみで通信が行われる場合は、対応できません。
- 無線LANでの接続の場合、環境により映像や音声が悪化したり、とぎれたりすることがありますので、有線LANでの接続をおすすめします。また、無線LANルーターの性能が低い場合、表示速度が遅くなる場合があります。無線化についてはご使用になる機器のメーカー等、専門知識のあるところにご相談ください。

● 本機のMACアドレスの確認方法

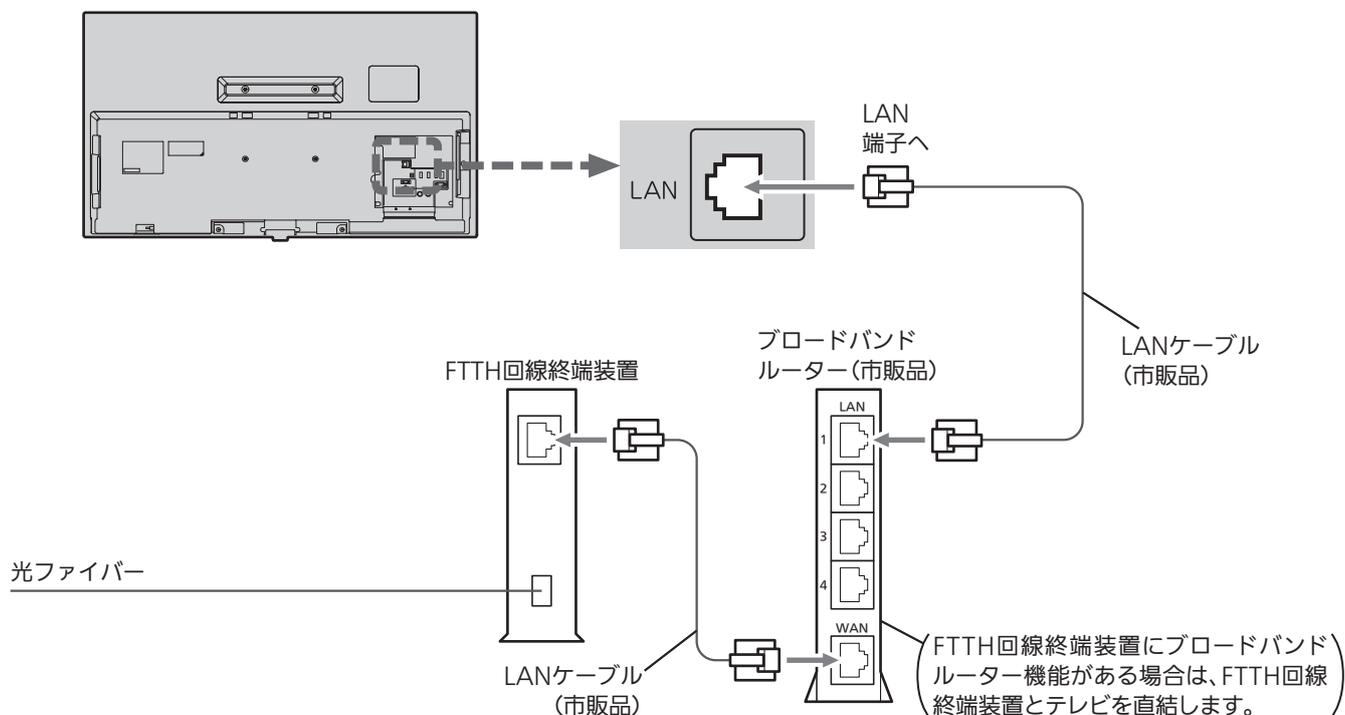
ルーターの設定などで本機のMACアドレスを確認する場合は、次の手順でご確認ください。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 ▲▼で「設定」を選び、決定ボタンを押す
- 3 ▲▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
- 4 ▲▼で「通信設定」を選び、決定ボタンを押す
- 5 表示されたウィンドウ内のMACアドレスを確認する

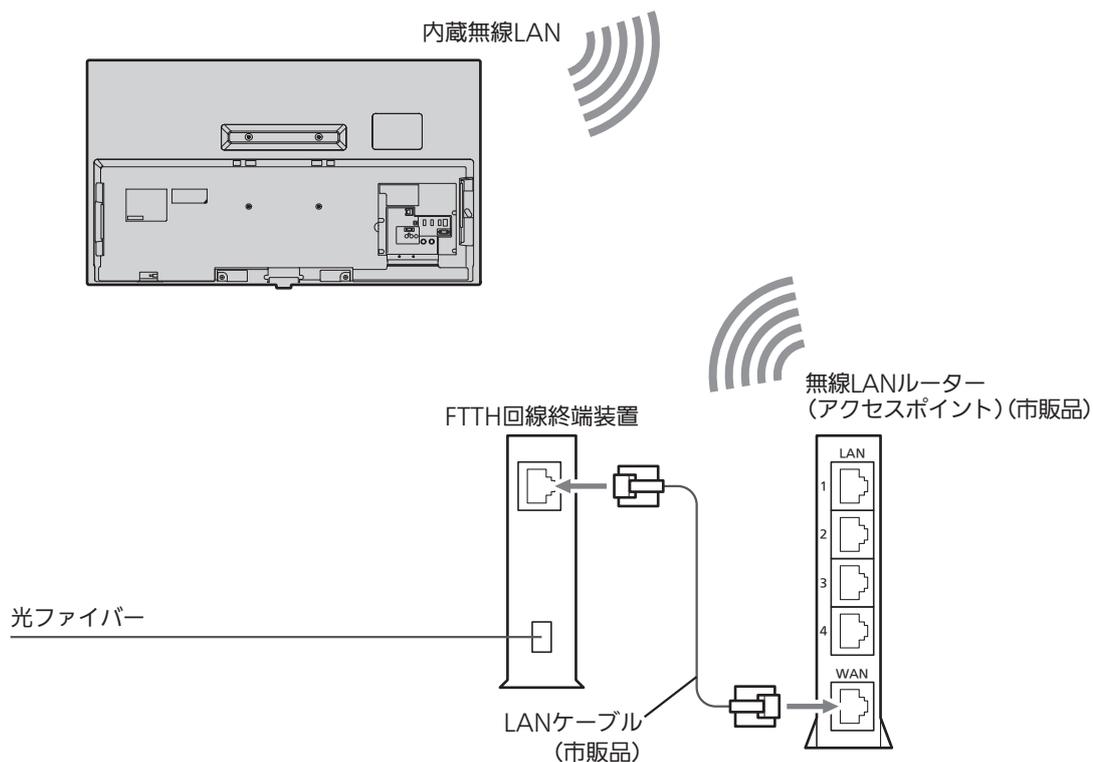
● FTTH(光ファイバー)回線

接続後は、「通信設定」を行ってください。

有線LANで接続する場合



無線LANで接続する場合

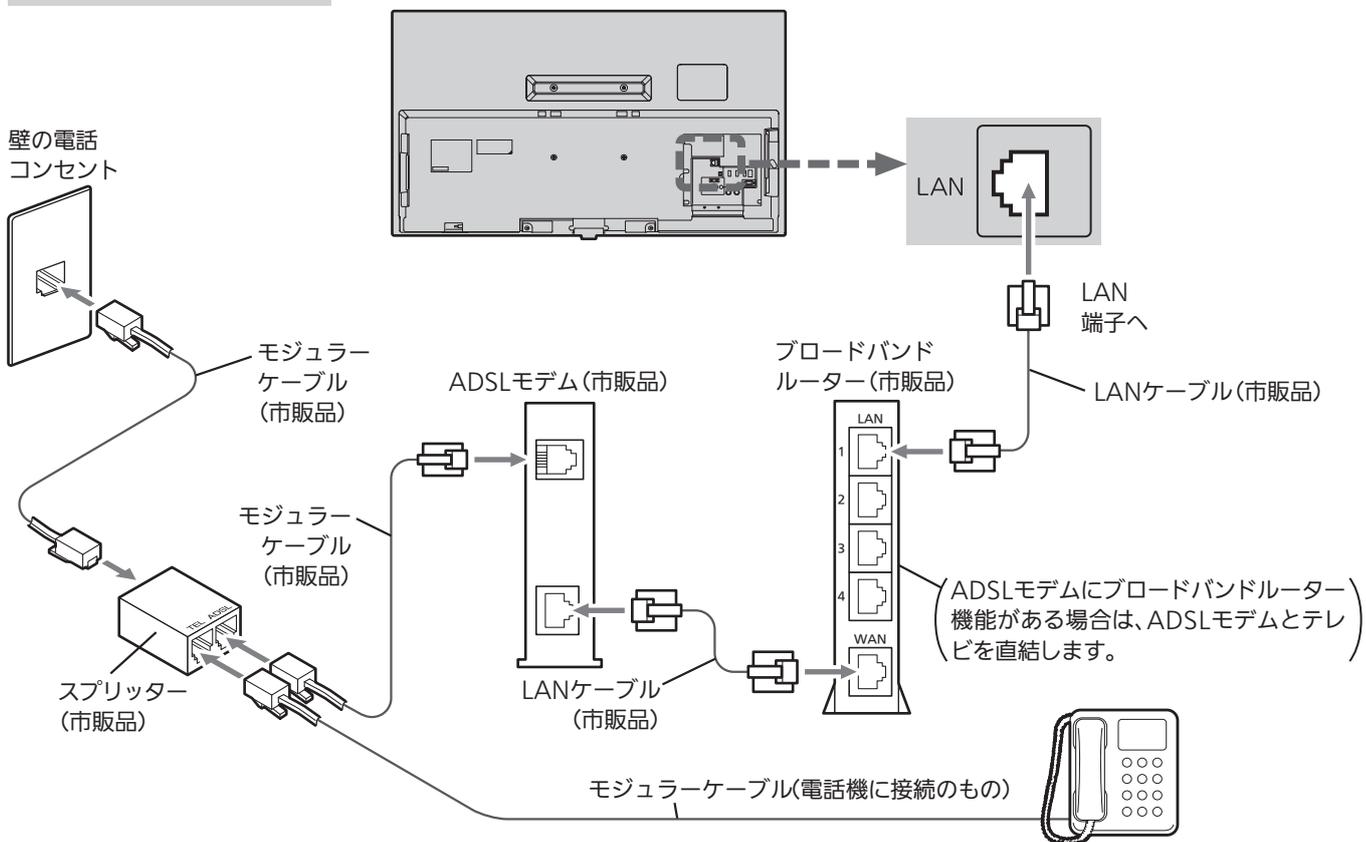


準備4 LANにつなぐ(つづき)

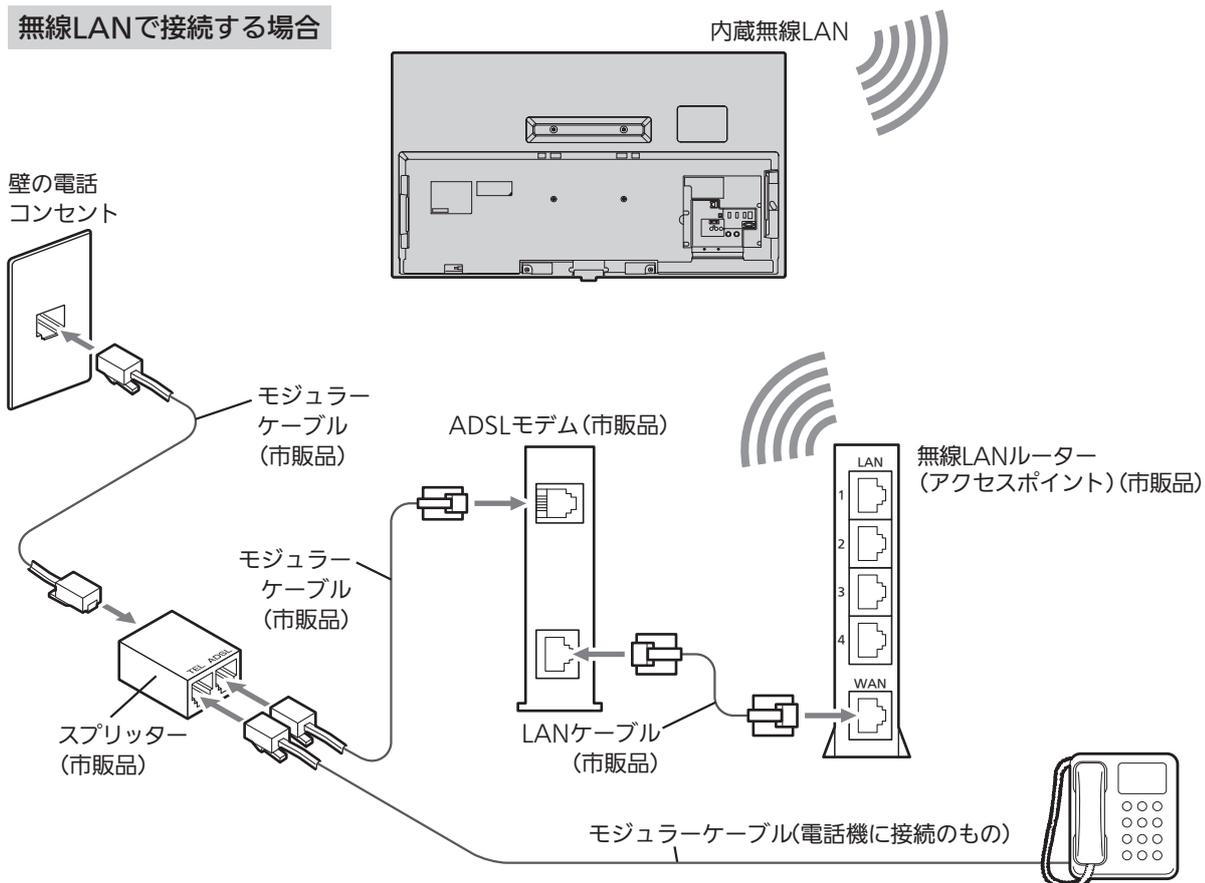
ADSL回線

接続後は、「通信設定」を行ってください。

有線LANで接続する場合



無線LANで接続する場合



家庭内ネットワーク機能に対応したテレビなどとの接続

本機能に対応したテレビ・レコーダーなどの当社製サーバー機器に接続して、それらの機器に録画された番組などを本機で視聴することができます。

お知らせ

- 4K映像の視聴はできません。

お願い!

- LANケーブルは、カテゴリ 5e以上のものをご使用ください。
- ネットワークへの接続方法などにつきましては、プロバイダや回線事業者へご確認ください。
- 家庭内ネットワーク機能に対応したテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 無線LANでの接続の場合、環境により映像や音声が乱れたり、とぎれたりすることがありますので、有線LANでの接続をおすすめします。

また、無線LANルーターの性能が低い場合、表示速度が遅くなることがあります。無線化についてはご使用になる機器のメーカー等、専門知識のあるところにご相談ください。

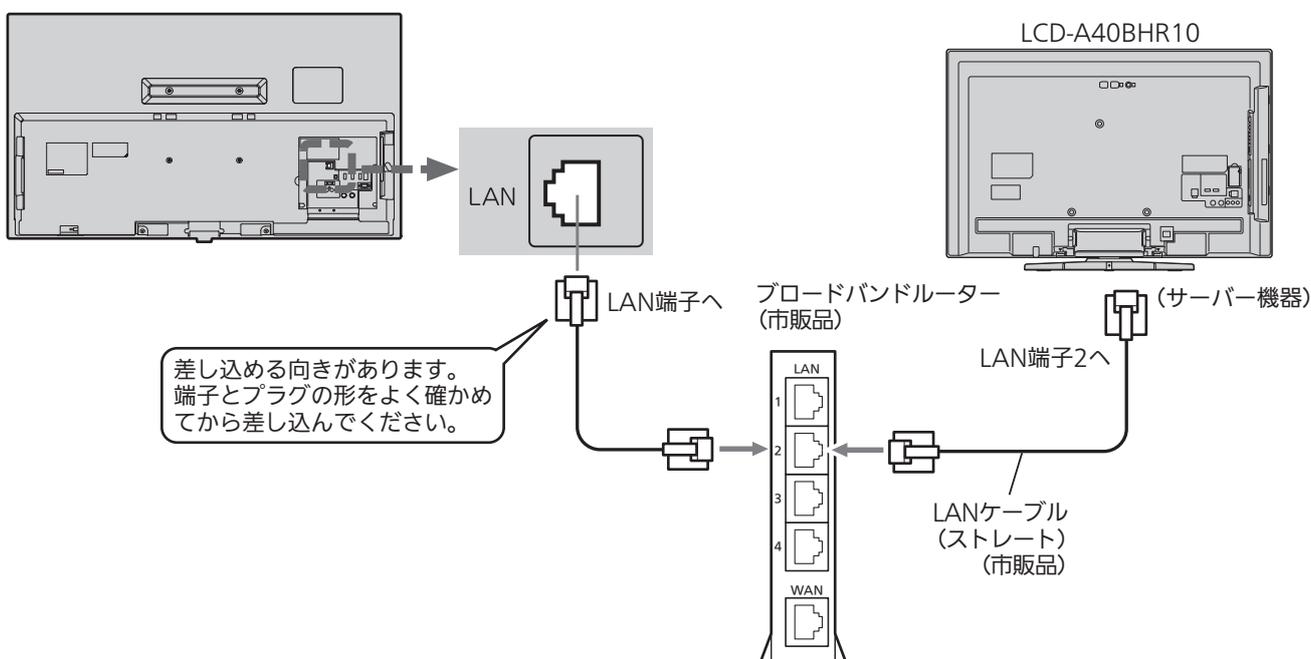
例：当社製HDD内蔵ブルーレイディスクレコーダー搭載液晶テレビ(LCD-A40BHR10)を接続する

ブロードバンドルーター経由での接続例

本機で「アクトビラ」「TSUTAYA TV」などの動画配信サービスも一緒に利用する場合の接続例です。

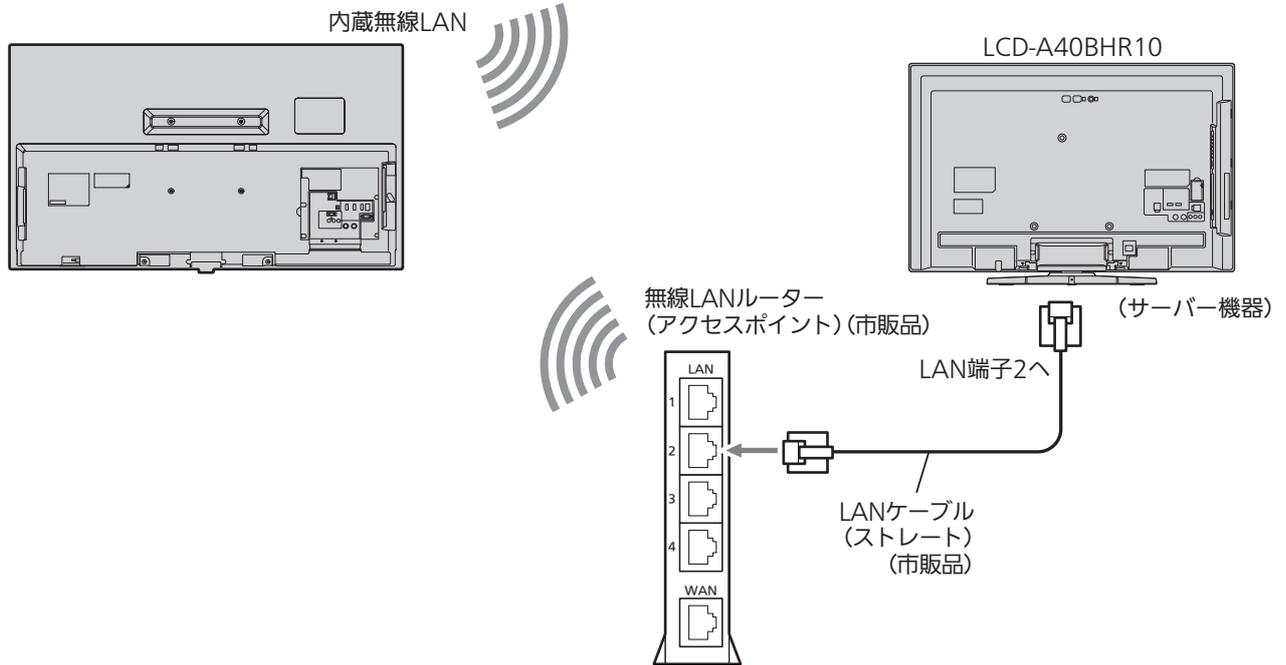
接続後は、「通信設定」を行ってください。

有線LANで接続する場合

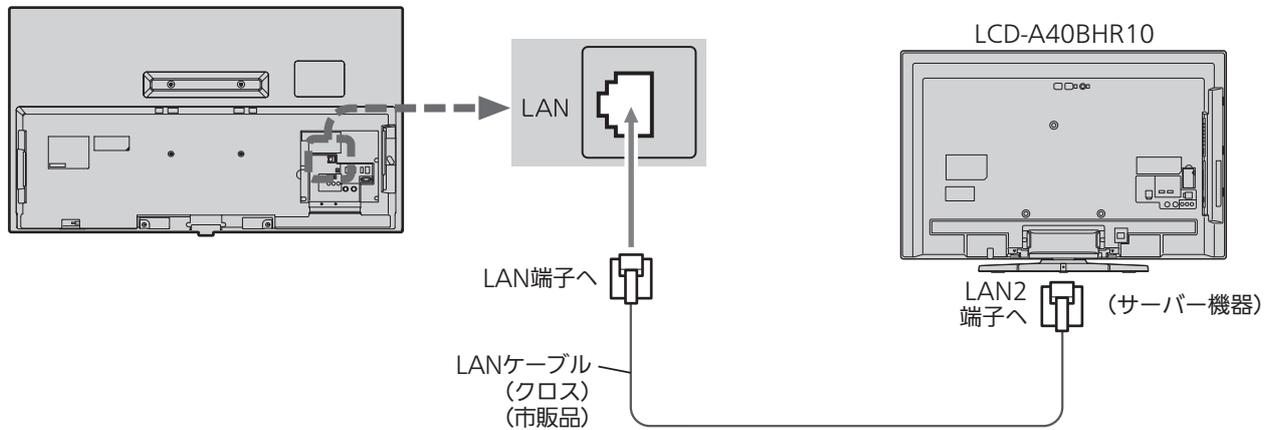


準備4 LANにつなぐ(つづき)

無線LANで接続する場合



直接接続の例



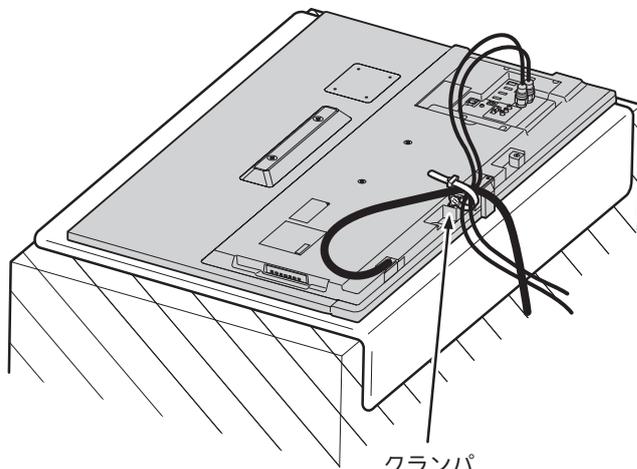
ケーブルを束ねる

お願い!

- 接続は、電源プラグを抜いてから行ってください。
- 映像・音声接続用のプラグと端子で色分けがしてあるものは、それぞれ色が合うようにつないでください。
映像…黄、音声-左…白、音声-右…赤
- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音、映像ノイズなどの原因になります。
- 接続線は、後面のクランパで固定してください。
- プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜き取ってください。
- 機器をつないで映像が乱れたり、雑音が出るときは、たがいに近すぎることもあるので、機器を十分に離してください。
- 機器によっては接続が異なる場合がありますので、接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。

他の機器を接続したあとは…

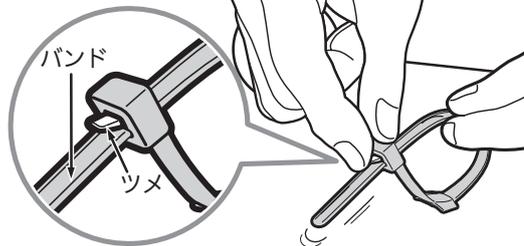
下図のように、ケーブルを後面のクランパで、しっかり固定してください。



クランパ
電源コードとケーブルを
一緒に通したあとは、
しっかりと締める

クランパのほどきかた

ツメを手前に倒しながら、
バンドを引き抜きます。



⚠ 注意

ケーブルが無理に引っ張られると端子が破損する恐れがあります。

テレビを
見るまでの準備

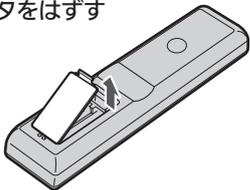
ケーブルを束ねる
LANにつなぐ

準備5 リモコンの準備をする

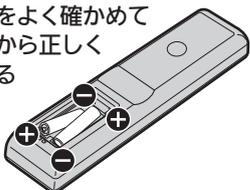
乾電池を入れる

単4形乾電池 R03(UM-4)を2個使用

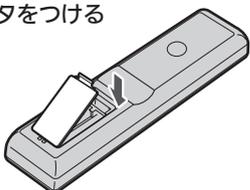
1 裏ボタンをはずす



2 正負極をよく確かめて、側から正しく入れる



3 裏ボタンをつける



警告

電池および電池の入ったリモコンは、直射日光の当たるところや熱器具、直火のそばなど温度が上がるところに置かない。

注意

乾電池は●側から入れる。正しい向きに入れる。

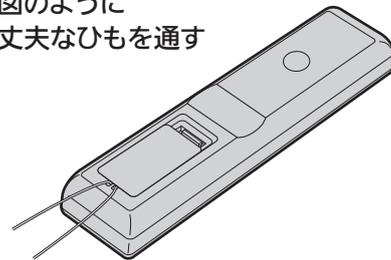
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚す原因になります。

- 乾電池の寿命は約半年です。(ご使用の状態によって寿命が変わります。)
- リモコンが動作しなくなったり、操作できる距離が短くなったときは、2個とも新しい乾電池と交換してください。
- 電池を廃棄する場合は、「各自治体の指示」に従って廃棄ください。プラス⊕・マイナス⊖端子に絶縁性テープを貼るなどして絶縁状態にしてから廃棄ください。

吊りひもをつけるとき

太さ2mm程度の丈夫なひもを用意してください。

図のように丈夫なひもを通す



注意

吊りひもを持って振り回さない

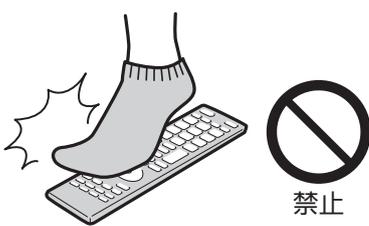
人に当たると、けがの原因になります。

お願い! リモコンの取扱い

落としたり、物を当てたり、衝撃を与えたりしない。



リモコンの上に重いものを乗せたり、踏みつけたりしない。



水をかけたり、ぬれたものの上に置かない。



ベンジン、シンナーなど揮発性の液体でふかない。



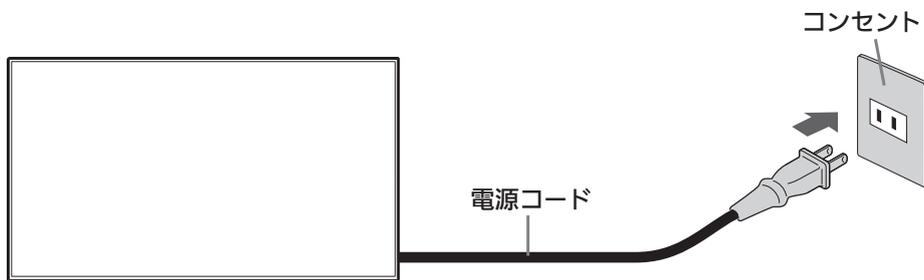
外傷に至らない場合でも、内部の基板が割れるなどの故障の原因となりますので、取り扱いには十分ご注意ください。

- ボタンは、表示の真ん中あたりを真上から押してください。
- ボタンを押すときは、力を入れすぎないようにしてください。
- 丁寧に扱ってください。

準備6 電源を入れる

● 電源コードをつなぐ

電源プラグは容易に手が届く場所のコンセントに差し込んでください。



🗣️ お願い!

キャビネットや液晶パネルが損傷している場合は、電源プラグをコンセントに差し込まずに、お買い上げの販売店または専門業者に連絡してください。

テレビを
見るまでの準備

電源を入れる
リモコンの準備をする

● リモコンで電源を入れる

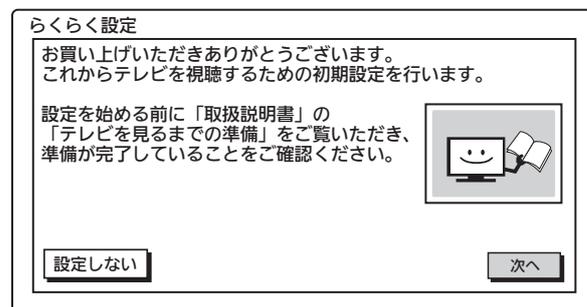
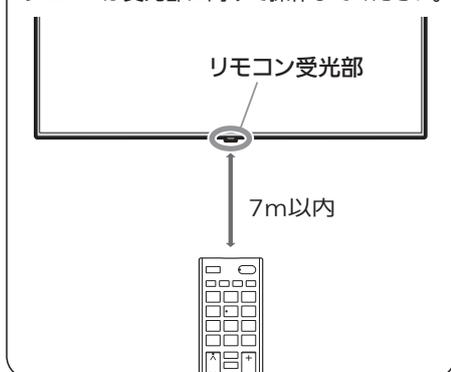


電源ボタンを押す



お買い上げ後、初めて電源を入れると
下記の画面(らくらく設定)が表示されます。

リモコンは受光部に向けて操作してください。



準備7 らくらく設定をする

接続が終わって初めて本機の電源を入れたときは、画面にらくらく設定画面が表示されます。
画面の案内やガイドに従って、確認・設定を行ってください。

設定開始

1 本機の電源を入れ、P.45の画面が表示されたら、本誌の「テレビを見るまでの準備」をご覧になり準備ができていることを確認し、**決定**を押す

- 「らくらく設定」をしない場合は「設定しない」を選び、**決定**を押してください。

2 **決定**を押して、設定を始める

- アンテナ線の接続のしかたについてはP.26~31をご覧ください。

お知らせ

テレビ放送を見ない場合は、「次へ」が選ばれている状態で、もう一度**決定**を押して手順3へ進んでください。

衛星視聴の確認

3 BS・110度CS デジタル放送、またはBS4K・110度CS4K放送を「視聴する」または「しない」を選ぶ

- BSデジタル放送や110度CSデジタル放送、BS4K放送、110度CS4K放送をご覧になるには専用アンテナの設置やCATV会社との契約、放送会社との契約などが必要です。

「視聴する」を選んだ場合は、手順4へ進みます。
「しない」を選んだ場合は、手順5へ進みます。

4 「次へ」が選ばれている状態で、**決定**を押す

お知らせ

- 設定画面内に表示される「BS/CS」「BS4K/CS4K」は次の放送を意味しています。
「BS/CS」：BS・110度CSデジタル放送
「BS4K/CS4K」：BS4K・110度CS4K放送
- 受信レベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信C/N(受信信号電力対雑音電力比)の換算値を表します。

地域の開始

5 7桁の郵便番号を入力する

数字ボタンを押す

- 間違えたときは◀で戻り、入力し直してください。
- ▲▼でも入力できます。
この場合、7桁目を入力したあとで▶を押して「次へ」を選んでください。

6 「次へ」が選ばれている状態で、▶を押して、**決定**を押す

スキャン

7 地上デジタル放送を「視聴する」または「しない」を選ぶ

◀▶で選んで**決定**を押す

8 「次へ」が選ばれている状態で、**決定**を押す

お知らせ

「△ 放送波が受信できません」などが表示されたときは、P.26~31をご覧ください。
正しく接続し直したあとは、**決定**を押してスキャンし直してください。

節電画質設定

「設定する」を選んで節電画質に切り換えると、工場内での視聴に適した消費電力の少ない画質になります。

9 「設定する」または「しない」を選ぶ

◀▶で選んで**決定**を押す

お知らせ

- この手順で節電画質設定に切り換えなくても、らくらく設定完了後、**設定**を押して「設定」→「節電アシスト設定」→「節電画質設定」で切り換えることができます。
- 節電画質を設定すると、画面がそれまでと比べやや暗くなります。

ある放送局だけ映りが悪い、ある部屋だけ映りが悪いなどの症状があるときは、「屋内配線も重要です」
P.49をご覧ください。

読み上げ設定

メニュー、番組表、番組内容などの画面で表示内容を自動的に読み上げるように設定できます。

10 「自動読み上げする」または「自動読み上げしない」を選ぶ

▲▼で選んで、**決定**を押す

お知らせ

この手順で読み上げ設定に切り換えなくても、らくらく設定完了後、「メニュー」→「設定」→「音声設定」→「読み上げ設定」→「自動読み上げ」で切り換えることができます。

11 「次へ」を選んで、**決定**を押す

設定完了

12 「完了」を選び、**決定**を押す

お知らせ

- らくらく設定は、必ずアンテナが接続された状態で放送のある時間帯に行ってください。チャンネルがとばされるように設定されて、選べなくなります。
- 転居でお住まいの地域が変わったときなど、らくらく設定をやり直したいときは「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「らくらく設定」の順に選び設定します。
- 設定後の各放送の番組表の取得には、時間がかかります。

準備8 ACAS番号を確認する

本機は、ACAS方式を採用しており、これまでのB-CASカードに代わり、ACASチップを内蔵しています。内蔵されているACASごとに20桁の番号が割り振られており、NHKのBSの受信機設置確認の連絡や、放送事業者様との有料放送の視聴契約等にも使用されます。

次の手順でACAS番号を確認し、控えてください。

- 1 **メニュー**を押す
- 2 ▲▼で「お知らせ・情報」を選び、**決定**を押す
- 3 ▲▼で「CAS情報」を選び、**決定**を押す
 - モジュールID (ACAS番号)が表示されます。
- 4 モジュールID (ACAS番号)を確認する
 - この取扱説明書の裏表紙などに番号を記入してください。
- 5 終了するときは、**メニュー**を押す

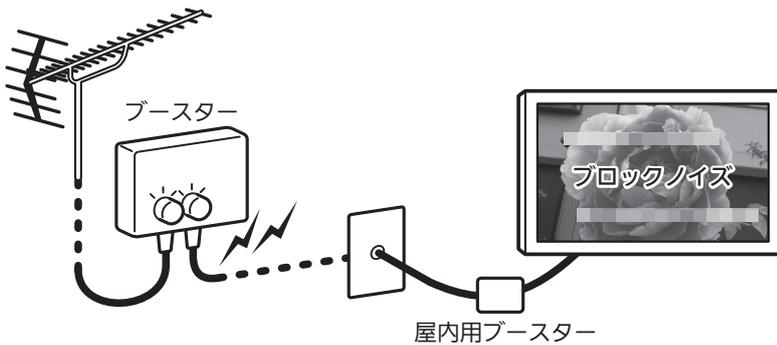
お知らせ

- ACAS方式とは、新4K/8K衛星放送の著作権を管理するコンディショナルアクセスシステム(CAS)方式の一つです。BSデジタル放送/110度CSデジタル放送にも対応しています。
- 放送事業者との有料放送などの新規契約時やテレビ買い替え時は、モジュールID (ACAS番号)を確認し契約している事業者様への連絡が必要となります。

屋内配線も重要です

ある放送局だけ映りが悪い、ある部屋だけ映りが悪いなどの症状があるときは、屋内配線を確認してみましょう。

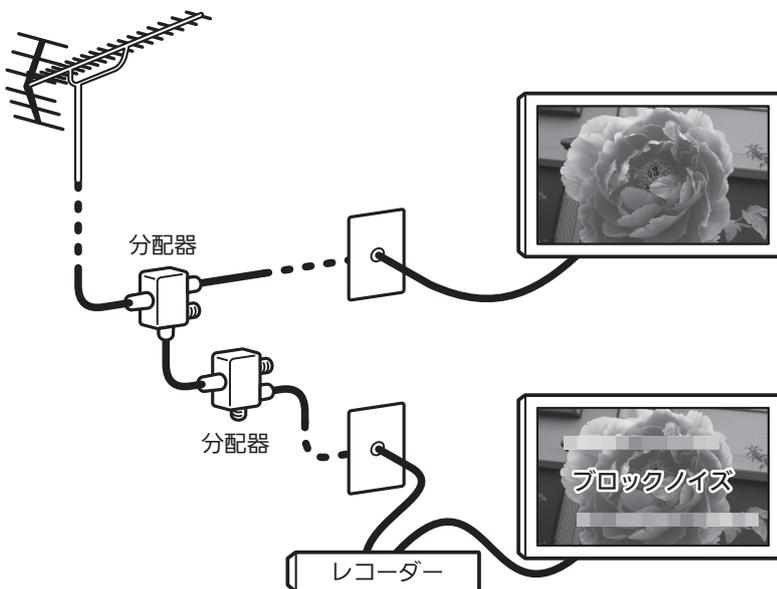
アナログ放送のときに使っていたブースターをそのまま使っていると、電波が強すぎて、映りが悪くなることがあります。



➡ 屋内用ブースターを外してみましょう。

屋内用ブースターは、アンテナから壁の端子の妨害も一緒に増幅し、映りを悪くする場合があります。

分配器や録画機器を通っていると、電波が弱くなり、映りが悪くなります。

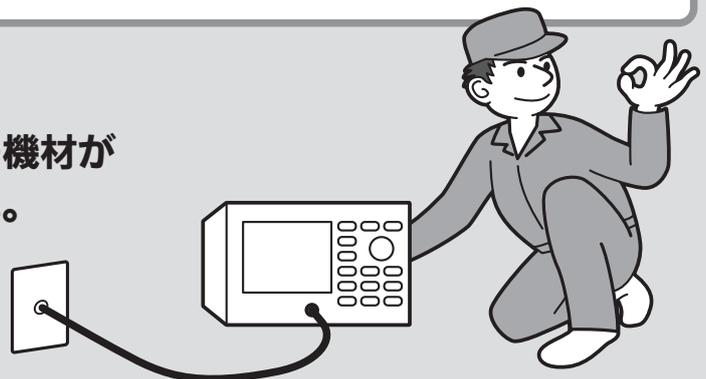


➡ アンテナレベルを確認しましょう。

「メニュー」→「お知らせ・情報」→「アンテナ受信レベル」で受信レベルを確認できます。

安定して視聴できるレベルは「22以上」が目安です。

電波状況の確認については、専用の機材がそろった工事業者にご相談ください。集合アンテナをご利用の場合は、管理者にご相談ください。



テレビ放送を見る (地上・BS・110度CSデジタル BS4K・110度CS4K)

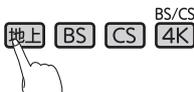
1 電源を入れる

- 電源表示灯が赤から緑に変わります。
- 電源表示灯が無点灯のときは、リモコンの電源ボタンははたらきません。本体の電源ボタンを押し電源を入れてください。



2 テレビ放送の種類を選ぶ

- CS**は押すごとにCS1とCS2が切り換わります。
- BS/CS 4K**は押すごとにBS4Kと110度CS4Kが切り換わります。
- 視聴しない放送波を誤って選ばないように、無効にすることができます。



3 チャンネルを選ぶ

- チャンネルボタンに設定する放送チャンネルを変えることができます。変更のしかたについては、「使いかたガイド」をご覧ください。

リモコンのボタンに設定されているチャンネルを選ぶ

数字ボタンを押す



3桁のチャンネル番号を入力して選ぶ

番号入力ボタンを押した後、数字ボタンで3桁入力する5秒以内に次の番号を押してください。

例: 103チャンネルを選ぶとき



「0」を入力するときは **10/0** を押します。

- 110度CSデジタル放送では、CS1、CS2のどちらからでも選べます。

チャンネルを順送り/逆送りで選ぶ

チャンネルボタン **▲** **▼** を押す

- 視聴しないチャンネルを飛び越し(スキップ)できます。
- 複数チャンネルが同じ番組を放送している場合は、自動的にスキップします。



4 音量を調節する

- 音量は0から最大60まで変化します。
- 待機状態のときでも、音量を小さくすることができます。
- スピーカーとヘッドホン、別々に音量調節できます。
- 大きすぎたり小さすぎたりする音量を自動調節することができます。いつも安定した音量で楽しめます。



視聴制限を一時的に解除するとき

視聴の許可年齢で設定した年齢以上の制限がかかった番組を見たいときや、ネットワークを利用するとき(ネットワーク利用制限を設定している場合は、暗証番号(パスワード)の入力が必要です)。

1 1~10/0で4桁の暗証番号を入力する

- 入力した数字は「*」で表示されます。
- 「0」を入力するときは **10/0** を押します。
- 間違えたときは **◀** を押して、1文字消すことができます。

2 「確定」が選ばれていることを確認し、決定を押す

視聴制限が解除され、番組を見ることができます。

お知らせ

- リモコンの電源ボタンで「切」にすると待機状態になります。一部の回路が通電しています。
- 受信状況(アンテナ受信レベル)の確認ができます。
- 暗証番号を登録して視聴制限を設定している場合は、視聴年齢制限の対象番組を選んだときや、ネットワークを利用するときに、暗証番号入力画面が表示されます。

お願い!

携帯電話の通話や無線機などをご使用になるとき、本機に近づきすぎると、本機の音声に異音が入ったり、画面にノイズが出たりする場合があります。

異音が出たり、本機にノイズが出たりした場合には、携帯電話などを離してご使用ください。

ある放送局だけ映りが悪い、ある部屋だけ映りが悪いなどの症状があるときは、「屋内配線も重要です」

P.49 をご覧ください。

データ放送を見る

放送には、テレビ放送、BSラジオ放送、データ放送の分類があります。

データ放送では、画面を見ながらボタンで操作して、お好みの情報を見ることができます。

データ放送には、連動データ放送と独立データ放送があります。

データ放送では、本機の日本語変換機能は使用できません。

テレビ放送に連動したデータ放送を見る

番組によっては、テレビ放送やBSラジオ放送の内容に合わせた情報をデータ放送で提供されることがあります。

またデータ放送を利用して、視聴者がリモコンを操作して番組に参加できるテレビ放送などもあります。無線LANまたはLAN端子の接続が必要です。

1 テレビ放送を見ているときに

dデータを押す

番組に連動しているデータ放送が表示されます。

2 画面の指示に従って、リモコンで操作する

4種類の色ボタン(青 赤 緑 黄)や▲▼◀▶、**決定**を使って、操作してください。

それ以外のボタン操作が必要な場合もあります。

連動データ放送を見ているときに**dデータ**をもう一度押すと、テレビ放送またはBSラジオ放送に戻ります。

お知らせ

- 番組によってはテレビ放送やBSラジオ放送に連動した情報が、自動的にデータ放送に切り換わって表示されることがあります。
- 番組に連動したデータ放送があるかどうかは、「メニュー」→「今すぐできること」→「番組内容」を選び、**決定**を押して「番組内容」画面を表示し、アイコンなどで確認できます。
- 電話回線のみで通信が行われるデータ放送には、対応していません。くわしくは放送事業者へお問い合わせください。
- データ取得中などでデータ放送画面がすぐに表示できないとき、画面右下に「**d**」が表示されます。表示が消えたら、再度「**d**」ボタンを押してください。

独立データ放送を見る

1 テレビ放送を見ているときに

メニューを押す

2 ▲▼で「テレビ操作」を選び、

決定を押す

3 ▲▼で「サービス切替」を選び、

決定を押す

4 ▲▼で「データ」を選び、**決定**を押す

5 チャンネル \wedge / \vee を押して、チャンネルを選ぶ

番組表から選局したり、3桁のチャンネル番号を入力して選局することもできます。

6 画面の指示に従って、リモコンで操作する

4種類の色ボタン(青 赤 緑 黄)や▲▼◀▶、**決定**を使って、操作してください。

それ以外のボタン操作が必要な場合もあります。

お知らせ

- 独立データ放送に切り換えたあと番組表を表示すると、独立データ放送チャンネルのみの番組表が表示されます。
- データ取得中などでデータ放送画面がすぐに表示できないとき、画面右下に「**d**」が表示されます。表示が消えたら、再度「**d**」ボタンを押してください。

テレビを見る

データ放送を見る

他の機器の映像を見る (入力切換)

他の機器との接続方法については、**P.32~37**をご覧ください。

例:ビデオ入力に接続したビデオの映像を見る場合 **P.32**

1 本機とビデオの電源を入れる

2 入力切換を押して、「ビデオ」に切り換える

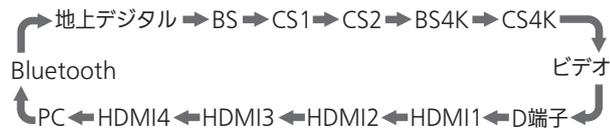
入力切換
<input checked="" type="checkbox"/> ビデオ
<input type="checkbox"/> D端子
<input type="checkbox"/> HDMI 1
<input type="checkbox"/> HDMI 2
<input type="checkbox"/> HDMI 3
<input type="checkbox"/> HDMI 4
<input type="checkbox"/> PC
<input type="checkbox"/> Bluetooth
<input type="checkbox"/> 放送

入力切換を押すごとに次のように切り換わります。



方向キーで項目を選び、決定を押しても切り換わります。

本体側面の入力切換ボタンでも切り換わります。



● 視聴しない放送波を無効にすることができます。

3 ビデオの再生をする

お知らせ

- 「入力スキップ設定」によりすべての入力は、スキップする(飛ばす)ことができます。
- 外部入力をスキップするには、「入力スキップ設定」で「する」に設定してください。
- 4K対応のHDMI1～4では、著作権保護の検出機能がはたらくため切換動作を完了するまでにしばらくかかることがあります。接続している機器によっても検出期間の長さは変わります。
- HDMI1～4では、HDMI1.0対応の一部の機器で正常に表示できない場合があります。

お願い!

- ビデオなどの接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth®の使用上のご注意や使用制限などについては、**P.10**をご覧ください。

字幕を出す

テレビ放送の番組によっては、字幕や文字スーパーが表示できるようになっています。

本機では、字幕や文字スーパーの表示/非表示や言語を設定できます。

字幕があるテレビ放送の番組を見ているときに

字幕を押す

- 字幕が表示できるかどうかは、次の方法で確認できます。

- ・画面表示を押す
字幕表示できる番組では、画面右上に「字幕あり」と表示されます。
- ・「メニュー」→「今すぐできること」→「番組内容」を選び、決定を押す

字幕表示できる番組では、番組内容の詳細画面に「字」マークが表示されます。

くり返し押して「日本語」または「英語」を選ぶと字幕が表示されます。

押すごとに次のように切り換わります。



方向キーで項目を選び、決定を押しても切り換わります。

「日本語」…………… 番組の日本語の字幕を表示します。
「英語」…………… 番組の英語の字幕を表示します。
「切」…………… 字幕や文字スーパーを表示しません。

お知らせ

- メニューの「今すぐできること」でも設定できます。
「メニュー」→「今すぐできること」から「字幕」を選んで、設定を切り換えることができます。
- 家庭内ネットワークで視聴しているものでも字幕のある番組は操作ができます。

チャンネル内の映像を切り換える(映像切換)

ひとつの番組で複数の映像を放送している番組(マルチビュー放送)を楽しんだり、同じチャンネルで放送している別の番組に切り換えたりできます。

1 テレビ放送を見ているときに
[メニュー]を押す

2 ▲▼で「テレビ操作」を選び、
[決定]を押す

3 ▲▼で「映像切換」を選び、[決定]を押す

4 ▲▼で映像の種類を選び、[決定]を押す

切り換わる映像の種類は、番組によって異なります。
たとえば、主番組と副番組1、副番組2が放送されているマルチビュー放送の場合では、次のように切り換わります。



お知らせ

- マルチビュー放送とは
ひとつの番組で別の映像や違う角度からなど、最大3つの映像を同時に楽しめる放送です。
- マルチビュー放送や、他の映像信号がない場合は、映像は切り換わりません。

使いかたガイドの見かた

使いかたガイドは本機の画面上で、設定、操作のしかたや機能などの説明、困ったときの解説を見ることができます。

1 **メニュー**を押す

2 ▲▼で使いかたガイドを選び、**決定**を押す



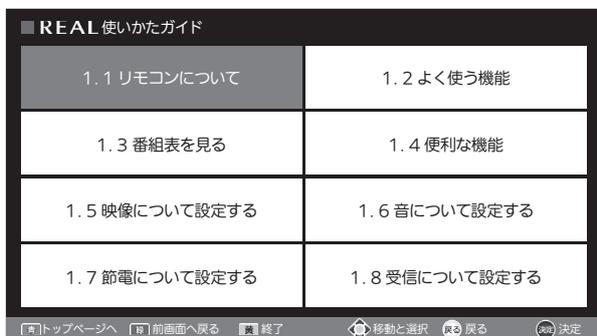
3 使いかたガイドのトップページが表示されます



4 ▲▼◀▶で見たい項目を選び、**決定**を押す

● 項目画面が表示されます。

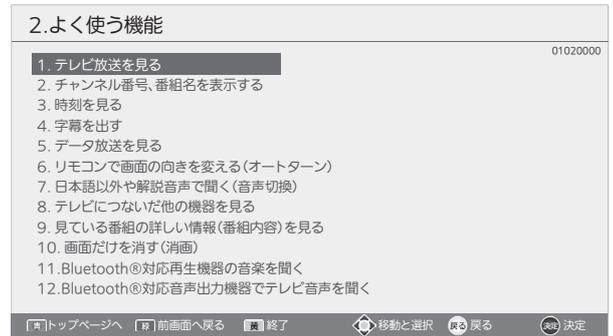
5 ▲▼◀▶で見たい項目を選び、**決定**を押す



※選んだ項目により表示内容は異なります。

● 項目一覧が表示されます。

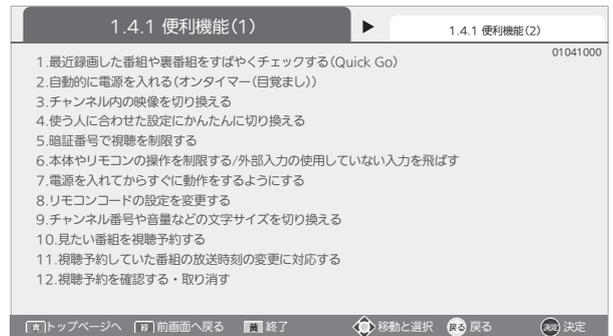
6 ▲▼で項目を選び、**決定**を押す



※選んだ項目により表示内容は異なります。

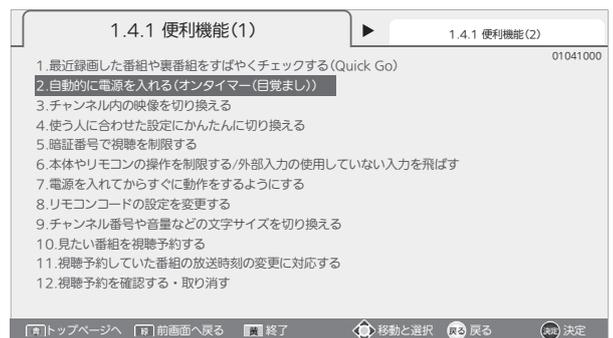
● 本文ページが表示されます。

■ タブを選ぶ画面の場合



※選んだ項目により表示内容は異なります。

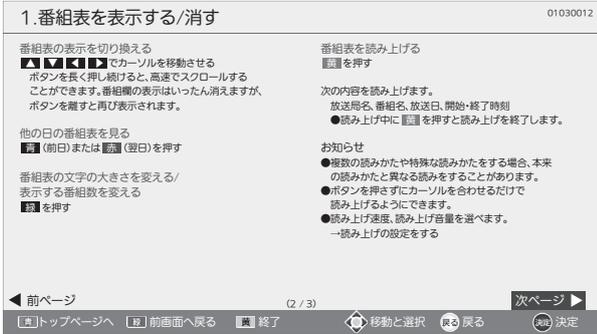
◀▶でタブを選びます。



※選んだ項目により表示内容は異なります。

項目を選んでいるときは、◀▶でタブは選べません。

7 本文ページが複数ある場合、ページを送るには ▲▼◀▶で、「次ページ」を選び、**決定**を押す



※選んだ項目により表示内容は異なります。
● 次のページが表示されます。

前画面へ戻るには、「前ページ」を選び、**決定**を押します。

8 終了するときは、**黄**を押す

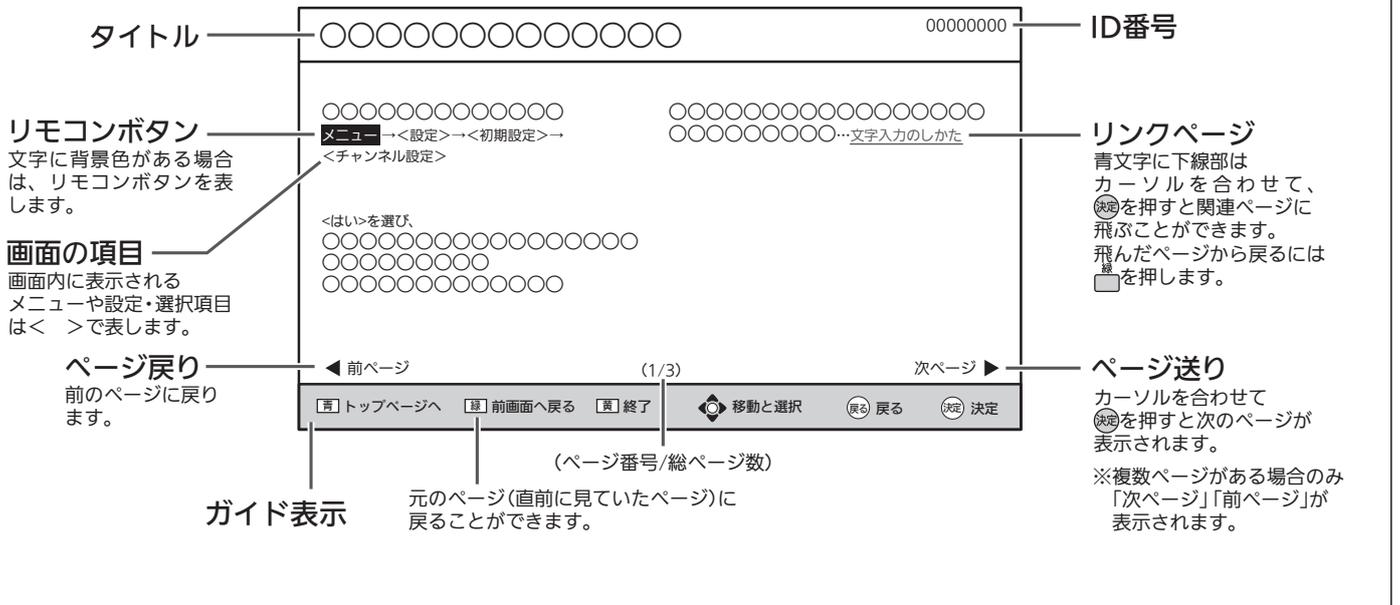
- 次に使いかたガイドに入るときは、前に終了した時の画面から始まります。操作を見直すときなどに便利です。
- トップページに戻るには、**青**を押します。

お知らせ

- トップページ^①の二次元バーコードを読み取ると、当社ホームページ「よくあるご質問」の液晶テレビのページを簡単に表示することができます。ご利用ください。

使いかたガイド画面の見かた

本文ページ



- 使いかたガイドの項目一覧 **P.57** で、あらかじめ知りたい項目を探することができます。画面での選択操作がスムーズになります。

使いかたガイド
の見かた

使いかたガイドの見かた

使いかたガイドの見かた(つづき)

「ダイレクトジャンプ」機能で見たいページに直接移動する

各ページに記載されているID番号を使用して、見たいページに直接移動し、そのページを表示させることができます。

「使いかたガイド」トップページ



ダイレクトジャンプ欄

1 P.54 (使いかたガイドの見かた)の手順①～③を行う

- トップページ以外のページが表示されているときは、を押します。トップページが表示されます。

2 ダイレクトジャンプ欄を選び、を押す

- 「キーボード画面」が表示されます。

3 見たいページのID番号(8桁の数字)を入力する

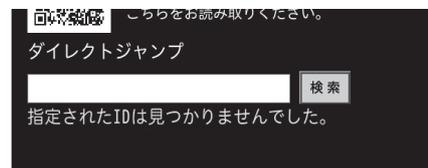
- ① ▲▼◀▶で数字を選び、を押す
 - ② 8桁すべてを入力したら、「完了」を押す
- 「キーボード画面」の表示が消えます。

例: 01060101



- リモコンの数字キーでは入力できません。

- ダイレクトジャンプ欄の下に「指定されたIDはみつかりませんでした。」と表示される場合は、入力したID番号が誤っていますので、再度、入力をやり直してください。



4 で を選び、を押す

- を選ぶと色が黄色になります。
- 指定したページが表示されます。



5 終了するときは、を押す

- 次に使いかたガイドに入るときは、前に終了した時の画面から始まります。操作を見直すときなどに便利です。
- トップページに戻るには、を押します。

使いかたガイドー項目一覧

1. テレビを見る

1.1 リモコンについて 01010000

- 1.XS1000シリーズ リモコンについて
- 2.XB1000-SL、DSM-U9/E9-SLシリーズ リモコンについて

1.2 よく使う機能 01020000

- 1.テレビ放送を見る
- 2.チャンネル一覧からチャンネルを切り換える
- 3.チャンネル番号、番組名を表示する
- 4.時刻を見る
- 5.字幕を出す
- 6.データ放送を見る
- 7.画面の向きをリモコンで変える(オートターン)
- 8.日本語以外や解説音声で聞く(音声切換)
- 9.テレビにつないだ他の機器を見る
- 10.見ている番組の詳しい情報(番組内容)を見る
- 11.画面だけを消す(消画)
- 12.Bluetooth®対応再生機器の音楽を聞く
- 13.Bluetooth®対応音声出力機器でテレビ音声を聞く

1.3 番組表を見る 01030000

- 1.番組表を表示する/消す
- 2.チャンネル別の番組表を表示する
- 3.番組の詳しい内容を見る
- 4.放送中の番組を見る
- 5.日にちを選ぶ
- 6.番組表の空欄を埋める
- 7.文字を見やすい大きさにする
- 8.特定のジャンルの番組だけを強調表示する
- 9.3チャンネル分表示されないようにする
- 10.見たい番組を探す

1.4 便利な機能 01041000

- 1.最近録画した番組や裏番組をすばやくチェックする(Quick Go)
- 2.自動的に電源を入れる(オンタイマー(目覚まし))
- 3.チャンネル内の映像を切り換える
- 4.使う人に合わせた設定にかんたんに切り換える
- 5.暗証番号で視聴を制限する
- 6.本体やリモコンの操作を制限する/外部入力の使用していない入力を飛ばす
- 7.電源を入れてからすぐに動作するようにする
- 8.リモコンコードの設定を変更する
- 9.チャンネル番号や音量などの文字サイズを切り換える
- 10.見たい番組を視聴予約する
- 11.視聴予約していた番組の放送時刻の変更に対応する
- 12.視聴予約を確認する・取り消す

- 13.PC入力端子につないだパソコンの画面を調整する
- 14.PC設定を初期化する
- 15.HDMI端子にパソコンをつなぐときの設定をする
- 16.HDMI端子に4K映像出力機器をつなぐときの設定をする
- 17.携帯端末で本機を操作する

1.5 映像について設定する 01050000

- 1.画面サイズを選ぶ
- 2.画面の調整や画面サイズの設定をする
- 3.映像モードを切り換える
- 4.画質を調整する
- 5.さらに細かく画質を調整する(プロ調整)
- 6.画質設定を購入時の設定に戻す
- 7.自動的に番組のジャンルの合った画質にする(ジャンル適応)
- 8.自動的にお部屋に合った画面の明るさにする(明るさセンサー)
- 9.見る人に合わせた画面にする(視聴者設定)

1.6 音について設定する 01060000

- 1.ひろがりのある音で聞く
- 2.音声モードを切り換える
- 3.音質を調整する
- 4.音質設定を初期化する
- 5.ヘッドホンの音量を調整する/各種設定をする
- 6.ジャンルに合った音質にする(ジャンル適応)
- 7.安定した音量で聞く(おすすめ音量)
- 8.人の声を聞きやすくする
- 9.読み上げの設定をする
- 10.操作音などの報知音量の設定をする
- 11.光音声/ARCの出力形式を設定する

1.7 節電について設定する 01070000

- 1.自動的に電源を切る-テレビの消し忘れを防ぐ
- 2.いろいろな節電設定を選ぶ(節電アシスト)
- 3.画質を変えて節電する
- 4.省エネ効果を確認する(節電モニター)
- 5.人の明るさ順応に合わせて明るさを自動的に調整する
- 6.節約設定をする

1.8 受信について設定する 01080000

- 1.らくらく設定をやり直す
- 2.テレビ放送のチャンネル設定を変更する
- 3.居住地域と郵便番号を設定する
- 4.選べるチャンネルを設定する
- 5.チャンネルの並び順を変える
- 6.アンテナ設定をする
- 7.放送波無効設定にする
- 8.アンテナ受信レベルを確認する

使いかたガイドー項目一覧(つづき)

2. SDカードで見る

02000000

1. SDカードの入れかた・出しかた
2. SDカードの一覧画面を表示する
3. 写真を見る
4. 写真をスライドショーで見る
5. 動画を見る
6. 動画(全画面再生)のいろいろな操作をする
7. SDカードご使用についての補足事項

3. ネットワークで動画を楽しむ

03000000

1. 「ネットワーク」で動画を楽しむ
2. 家庭内ネットワークで動画を楽しむ
3. LANを使用するときの通信設定をする

4. 外付ハードディスクを使う

※本項目は、XS1000シリーズのみ。

5. その他

5.1 リアリンク対応機器を操作する

05010000

1. リアリンク対応機器について
2. リアリンク対応機器の操作のしかた
3. リアリンク対応機器の録画リストを表示する
4. リアリンク対応機器の再生などの操作をする
5. リアリンク対応機器に一発録画をする
6. リンク録画予約について
7. リンク録画予約の前に
8. 番組表やジャンル検索からリンク録画予約する
9. 時刻を指定してリンク録画予約する
10. リンク録画予約を確認する・取り消す
11. HDMI接続した機器と電源連動する/
外部チューナーと連動する

5.2 お知らせや情報を確認する

05020000

1. 放送局からのお知らせ/
テレビからのお知らせを確認する
2. ボード(CS)/CASカード情報/
ソフトウェア情報を確認する

5.3 その他の設定/本機を工場出荷時の設定 に戻す

05030000

1. ダウンロード更新について設定をする
2. 本機を工場出荷時の設定に戻す

6. おすすめ機能

1. おすすめ機能 06000011

7. このテレビについて

- 7.1 主な仕様 07010011

- 7.2 アイコンの意味 07020011

- 7.3 本機のソフトウェア 07030000

8. おや?と思ったら

08000000

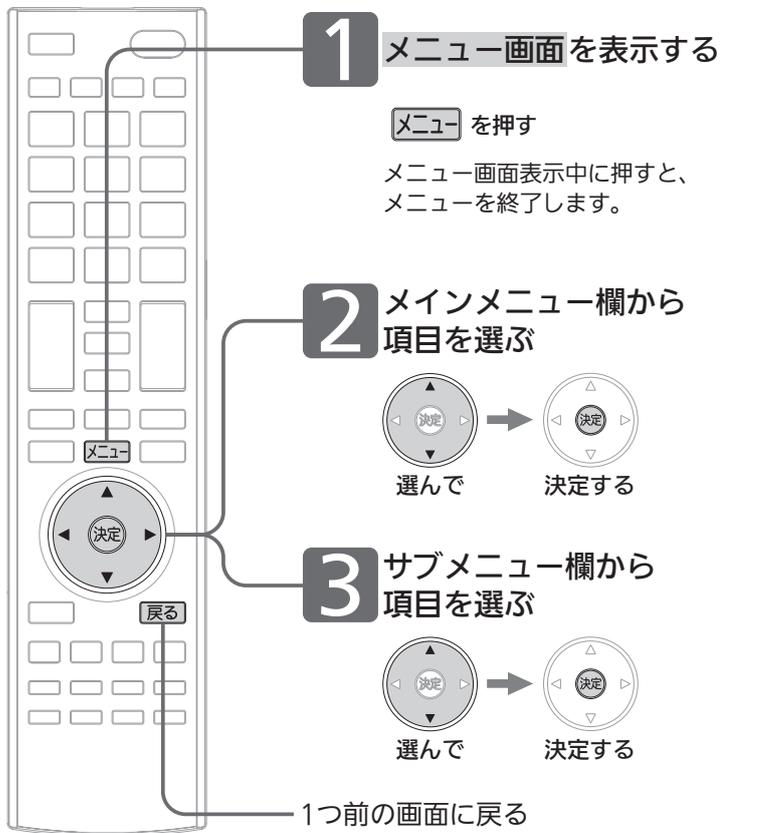
9. 索引

09000000

メニュー機能の使いかた

メニューボタンを押すだけで、いろいろな機能呼び出せます。自動読み上げを「入」にしておくと、選択された項目を読み上げます。

基本的な使いかた



メニュー画面



メインメニュー欄

※「リンク機器操作」は、リアリンク対応機器とHDMI接続して、メニューの「リンク制御」を「入」に設定しているときに選べます。

サブメニュー欄

メインメニュー欄で選んでいる項目の細かい設定項目を一覧で表示します。

ガイド欄

この画面で使うリモコンのボタンや解説文などを表示します。

消費電力メーター

消費電力値を表示します。設定の変更による消費電力の変化を見ることができます。

各項目で操作できる内容

今すぐできること

いろいろな状況に応じた操作ができます。

映像	
●テレビ放送を見ているとき	ヘッドホン音量 ※1
	番組内容
	音声切換
	字幕
	画面サイズ
	画質設定
	音声設定
	サラウンド ※2
●外部入力(PC除く)で見ているとき	ヘッドホン音量 ※1
	画面サイズ
	画質設定
	音声設定
	サラウンド ※2
●PC入力で見ているとき	ヘッドホン音量 ※1
	画面サイズ
	画質設定
	音声設定
	サラウンド ※2
●動画配信サービスを見ているとき	ヘッドホン音量 ※1
	画質設定
	音声設定
	ネットワーク終了
●SDカードの動画一覧を表示しているとき	ヘッドホン音量 ※1
	再生開始
	前のページ
	次のページ
	並べ替え
	写真一覧
	SDカード終了
●SDカードの動画を再生しているとき	ヘッドホン音量 ※1
	繰り返し再生
	前の動画
	次の動画
	画面サイズ
	画質設定
	音声設定
	動画一覧
	SDカード終了

節電アシスト

- 節電アシスト設定画面を表示しているとき
元の画面

お知らせ

※ 1、※2の注釈は次ページをご覧ください。

次ページへつづく

使いかたガイド
の見た

困ったとき

メニュー機能の使いかた

メニュー機能の使いかた(つづき)

番組表・番組内容・番組情報取得

- 地上・BSデジタル・BS4K・110度CS4K放送の番組表を表示しているとき

番組内容
単局番組表 ※3
全局番組表 ※3
文字サイズ切換
番組情報取得
表示形式切換
特定ジャンル強調表示
ジャンル検索
予約一覧
元の画面

- 110度CSデジタル放送の番組表を表示しているとき

番組内容
単局番組表 ※3
全局番組表 ※3
文字サイズ切換
表示形式切換
特定ジャンル強調表示
ジャンル検索
予約一覧
元の画面

- 番組内容画面を表示しているとき

番組表
ジャンル検索
予約一覧
元の画面

- 番組情報取得画面を表示しているとき

元の画面

- チャンネル一覧画面を表示しているとき

選局方式切換
元の画面

Bluetooth®入力

- Bluetooth®入力で音声を聞いているとき

ヘッドホン音量 ※1
Bluetooth接続切替※7
Bluetooth再生機器情報削除※8
音声設定

予約

- 予約一覧を表示しているとき

時刻指定予約
予約取り消し
番組表
ジャンル検索
元の画面

- 時刻指定予約画面を表示しているとき

元の画面

検索

- ジャンル検索(検索後)画面を表示しているとき

番組内容
番組表
予約一覧
元の画面

- ジャンル検索(検索前)画面を表示しているとき

番組表
予約一覧
元の画面

SDカードの静止画を見るとき

- 写真一覧で表示しているとき

全画面表示
前のページ
次のページ
画像回転
スライドショー
スライド時間
動画一覧
SDカード終了

- 全画面で表示しているとき

前の画像
次の画像
画像回転
画質設定
写真一覧
SDカード終了

- スライドショーで表示しているとき

一時停止
再開
写真一覧
SDカード終了

ホームネットワーク

- 動画一覧を表示しているとき

機器変更
ヘッドホン音量 ※1
続きから再生 ※4
最初から再生 ※4
前のページ ※5
次のページ ※5
写真一覧
ホームネットワーク終了

- 動画を見ているとき

ヘッドホン音量 ※1
音声切換
字幕
繰り返し再生
画面サイズ
画質設定
音声設定
動画一覧に戻る
ホームネットワーク終了

※1:「スピーカー音声同時出力」が「入」に設定されていて、ヘッドホンを挿入している場合のみ表示されます。

※2:スピーカー音声出力時のみ表示されます。

※3:表示されている番組表が単局か全局かでどちらか一方が表示されます。

※4:フォルダー表示の場合は表示されません。また、動画件数が1件以上の場合のみ表示されます。

※5:動画件数が1件以上の場合のみ表示されます。

※7:Bluetooth®接続中のみ表示されます。

※8:Bluetooth®接続中は薄く表示され選択できません。

番組表・予約

番組表などの表示や、見たい番組の検索・予約などができます。

番組表
ジャンル検索
予約一覧
時刻指定予約

テレビ操作

視聴中に操作できる便利な機能です。

オフタイマー
オンタイマー
消画
チャンネル一覧
サービス切換
映像切換
SDカード
ネットワーク
ホームネットワーク
使う人切換

リンク機器操作

リアリンク対応機器を、本機のリモコンで主な操作ができます。

操作パネル
機能一覧
録画リスト
サブメニュー
ディスク切換
一発録画
録画停止
レコーダー電源オフ
外部アンプ連動 ※1
レコーダー初期化 ※2

お知らせ・情報

機器内部や放送局からのお知らせ、アンテナ受信レベルなどの情報を表示します。

テレビからのお知らせ
放送局からのお知らせ
ボード(CS)
CAS情報
アンテナ受信レベル
困ったときは

使いかたガイド

本機の画面上で設定や操作、情報などを見ることができます。

設定

下記項目を詳細に設定することができます。

画質設定
音声設定
機能設定
初期設定
節電アシスト設定
設定初期化

※1：HDMIコントロール対応アンプと未接続時は薄く表示され選択できません。

※2：2008年以降発売のリアリンク対応機器(DVR-DS120を除く)をご使用のときに表示します。





故障かな？と思ったら

電源

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグが抜けていませんか。 	45
電源が入らない。 電源表示灯が赤点滅する、 または点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電源表示灯(赤色)が点滅している場合は、次のいずれかを行ってください。(リセット) <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ本体の電源ボタンを長押しする。いったん電源が切れ、自動的に起動します。 ・コンセントから電源プラグを抜き電源をいったん切ったあと、しばらくして再度コンセントへ電源プラグを差し電源を入れ直す。 <p>それでも電源が入らず表示灯が点滅する場合は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●安全のための保護回路がはたらいたことを表しています。このとき安全のためリモコンで操作はできません。 <p>→電源プラグを抜いて、販売店または専門業者にご相談ください。</p>	—
電源が入らない。 本体の電源ボタンで電源が 入るが、リモコンでは電源が 入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ●本体の電源ボタンで電源を「切」にすると電源表示灯が消灯し、その後リモコンの電源ボタンでは電源を「入」にできません。 <p>→電源表示灯が無点灯のときは、本体の電源ボタンを押し一旦電源を「入」にしてからリモコンで操作してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ●リモコンの乾電池の⊕⊖が逆に入っていないですか。 ●テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。 ●テレビのリモコン受光部に強い照明などが当たっていませんか。 ●リモコンコードの設定が、テレビ本体とリモコンとで合っていますか。合っていない場合、リモコン操作時に画面右下に[R1]または[R2] [R3] [R4]のアイコンが表示されます。 <p>→次の操作を行って、リモコン側の設定を切り換えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[R1]が表示されたとき……リモコンのチャンネル ▲ と [設定] を同時に3秒以上押す ・[R2]が表示されたとき……リモコンのチャンネル ▼ と [設定] を同時に3秒以上押す ・[R3]が表示されたとき……リモコンの音量 + と [設定] を同時に3秒以上押す ・[R4]が表示されたとき……リモコンの音量 - と [設定] を同時に3秒以上押す <p>リモコンコード警告表示が「切」になっていると、上記アイコンは表示されません。</p>	— — 44 16 —

リモコン

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ●リモコンの乾電池の⊕⊖が逆に入っていないですか。 ●テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。 ●テレビのリモコン受光部に強い照明などが当たっていませんか。 ●テレビ放送の番組連動データがあるときやデータ番組を視聴しているときは、[1] ~ [12] ボタンがデータ操作に使われるため、チャンネルを切り換えられないことがあります。 <p>→チャンネル [▲] [▼] や番組表でチャンネル切換をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●リモコンコードの設定が、テレビ本体とリモコンとで合っていますか。合っていない場合、リモコン操作時に画面右下に[R1]または[R2] [R3] [R4]のアイコンが表示されます。 <p>→次の操作を行って、リモコン側の設定を切り換えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[R1]が表示されたとき……リモコンのチャンネル ▲ と [設定] を同時に3秒以上押す ・[R2]が表示されたとき……リモコンのチャンネル ▼ と [設定] を同時に3秒以上押す ・[R3]が表示されたとき……リモコンの音量 + と [設定] を同時に3秒以上押す ・[R4]が表示されたとき……リモコンの音量 - と [設定] を同時に3秒以上押す <p>リモコンコード警告表示が「切」になっていると、上記アイコンは表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●次のいずれかを行ってください。(リセット) <ul style="list-style-type: none"> ・本機の電源ボタンを長押しする。いったん電源が切れ、自動的に起動します。 ・コンセントから電源プラグを抜き電源をいったん切ったあと、しばらくして再度コンセントへ電源プラグを差し電源を入れ直す。 <p>本機は、パソコンのような複雑なプログラムにより動作しています。まれに動作が不安定になったとき、動作を止めることがあります。上記のいずれかの操作をする(リセットする)ことで、不安定要素が解消され正常動作に戻ります。</p> <p>まれに、戻らないことがあります。その場合は電源プラグを抜いた状態で、数分おいてから電源プラグを差し直してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●踏む、ぶつけるなどリモコンに強い衝撃が加わると、見た目にはわからなくても内部の部品が破損し使えなくなることがあります。リモコン交換が必要となりますので、リモコンは丁寧に扱ってください。 	— 44 16 — — —
リモコンの一部のボタンが利かない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電池が消耗していませんか。 	—

困ったとき

故障かな?と思ったら

故障かな？と思ったら(つづき)

■ その他

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
画面に「本機の周囲温度が保証範囲を大きく超えています。」のメッセージが表示される。	●本機の周囲温度が保証温度を大きく超えた状態になっています。故障の原因になりますので、電源を切り、設置状態や設置場所が、温度が高い状態になっていないかご確認ください。	—
画面に「本機の周囲温度が保証範囲を大きく超えているため、まもなく電源が切れます。」のメッセージが表示された後、電源が切れる。		
電源を入れたとき、「本機の周囲温度が保証範囲を大きく超えたため、電源を切りました。」のメッセージが表示される。		

お手入れのしかた

お手入れの前に、必ず電源プラグを抜いてください。

液晶パネル

液晶画面には、映り込みを抑えたり、映像を見やすくしたりするために特殊な表面処理を施しています。誤ったお手入れをした場合、画面を損傷する原因にもなりますので次のことを必ずお守りください。

- 表面は、脱脂綿か柔らかい布で軽く拭きとってください。また、きれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。ホコリのついた布・化学ぞうきんで表面をこすると液晶パネルの表面が剥がれることがあります。
 - 画面の清掃には、水、イソプロピルアルコール、ヘキサンをご使用ください。研磨剤が入った洗剤は、表面を傷つけるので使用しないでください。アセトンなどのケトン系、エチルアルコール、トルエン、エチル酸、塩化メチルは、画面に永久的な損傷を起こす可能性がありますので、クリーナーの成分には十分ご注意ください。酸やアルカリもお避けください。
 - 水滴や溶剤などがかかった場合はすぐに拭きとってください。そのままにすると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
 - 清掃目的以外（静電気防止など）でも画面に溶剤等を使用されますと画面の光沢ムラなどになることがあります。ムラなどになった場合は、水ですぐに拭き取ってください。
- ※表面は傷つきやすいので硬いもので押しったりこすったり、たたいたりしないように、取り扱いには十分ご注意ください。画面についたキズは修理できません。
- ※手指で触れる、などにより表面が汚れることのないように十分ご注意ください。

キャビネット

キャビネットの表面はブラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナーなどで拭くと変質したり、塗料がはげる原因になります。



【化学ぞうきんご使用の際はその注意書に従ってください】

- 柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 汚れが目立つときは、台所用中性洗剤の表示されている使用量の目安まで薄めたぬるま湯で清掃し、洗剤が残らないように乾いた布で拭き取ってください。台所用中性洗剤を原液のまま使用しないでください。変色・変質・ひび割れの原因になります。
- 水滴などが液晶パネルの表面を伝ってテレビ内部に浸入すると故障の原因になります。



内部

掃除は、販売店または専門業者に依頼してください。

- 1年に一度くらいを目安にしてください。内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。とくに梅雨期の前に行うのが効果的です。

電源プラグ

- ほこりなどは定期的にとってください。電源プラグにほこりがついたりコンセントの差し込みが不完全な場合は、火災の原因になります。

放送について

本機は、地上・BS・110度CSチューナー(4K放送対応)を搭載しています。

UHFアンテナ(地上デジタル対応)や衛星アンテナ(110度CS対応)を本機に接続すると、無料チャンネルと契約済みの各放送を受信することができます。

●テレビ放送全般については、一般社団法人 放送サービス高度化推進協会(A-PAB) <http://www.apab.or.jp/> をご覧ください。

地上デジタル放送

- 地上デジタル放送を受信するには、UHFアンテナが必要です。現在お使いのUHFアンテナでも地上デジタル放送を受信できます。くわしくは、お買上げ店にお問い合わせください。
- 地上デジタル放送は、ケーブルテレビ(CATV)でも受信できます。ケーブルテレビ放送会社によっては、放送方式が異なります。
本機はすべての周波数(VHF帯、MID帯、SHB帯、UHF帯)に対応する【CATVパススルー対応】の受信機です。
- 共聴・集合住宅施設における地上デジタル放送受信についてのご注意
難視対策、電波障害対策、あるいは集合住宅における共同受信施設では、地上放送受信のために、アンテナやブースタなどの機器の再調整、追加、あるいは取り替えが必要になる場合があります。
くわしくは、施設の管理者にお問い合わせください。
- 携帯端末向けのワンセグ放送は、本機では受信できません。

BSデジタル放送

- 放送衛星(Broadcasting Satellite)を使って放送されるハイビジョン放送やデータ放送が特長です。BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSテレ東、BSフジなどは無料放送を行っています。
有料放送は、加入申し込みと契約が必要です。

■「WOWOW」お客さまサポート

TEL:フリーダイヤル 0120-580-807
受付時間 9:00 ~ 20:00(年中無休)
<http://www.wowow.co.jp/>

■「スター・チャンネル」お問い合わせ

TEL:0570-013-111
または、044-540-0809
受付時間 10:00 ~ 18:00
<http://www.star-ch.jp/>

110度CSデジタル放送・110度CS4K放送(スカパー!)

- BSデジタル放送と同じ東経110度の方角にある通信衛星(Communication Satellite)を使って放送されるニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあるのが特長です。
- 110度CSデジタル放送・110度CS 4K放送を視聴するには、「スカパー!」への加入申し込みと契約が必要です。110度CSデジタル放送には、CS1とCS2の2つの放送サービスがあり、その中に多くの放送局があります。

スカパー!を見るには

- 本機は新4K8K衛星放送におけるスカパー!の放送に対応しています。
※スカパー!は、BS/110度CS放送および新4K8K衛星放送(4K放送)の有料放送サービスです。
- お申し込みには、以下の準備が必要です。
 - ・ACAS番号
※ACAS番号の確認方法は、**P.48** をご覧ください。
 - ・4K8K対応アンテナ(4K放送ご視聴時必須)またはBS/110度CS対応アンテナ
※スカパー!の4K放送を見るには、4K8K対応アンテナが必要です。ブースターや分配器などの受信設備の交換が必要になる場合があります。

■スカパー!カスタマーセンター総合窓口(お問い合わせ・お申し込み)

TEL:0120-039-888
受付時間 10:00 ~ 20:00(年中無休)
<https://www.skyperfectv.co.jp/>

困ったとき

放送について
故障かな?と思ったら
／お手入れのしかた

放送について(つづき)

BS4K・110度CS4K放送

- フルハイビジョンを超えるキメ細かな超高精細映像が映し出す映像と、マルチチャンネルによるサラウンドの立体的な音響、さらに自然で鮮やかな色彩が特徴の放送です。

■一般社団法人放送サービス高度化推進協会(A-PAB)

新4K8K衛星放送コールセンター

TEL:ナビダイヤル 0570-048-001

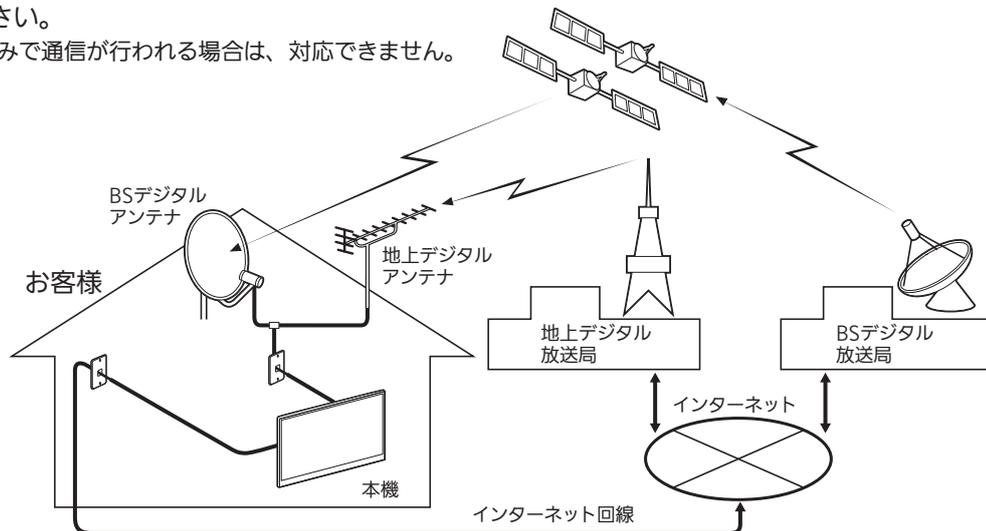
受付時間 09:00 ~ 17:00(土日祝日、年末年始休み)

<http://www.apab.or.jp/4k-8k/callcenter>

●双方向サービスとは

データ放送で行われるサービスの1つで、インターネットまたは電話の回線を使い番組に連動して、放送局と視聴者で双方向のやり取りができます。たとえばテレビ画面を見ながら、クイズの解答やショッピングなどいろいろなサービスが考えられています。本機で双方向サービスを利用するには、インターネット回線を接続してください。

※電話回線のみで通信が行われる場合は、対応できません。



著作権等について

■ 商標・登録商標について

- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国またはその他の国における登録商標または商標です。
© 2012-2017 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

ACCESS™ NetFront®

- ㊦マーク、 および「actVila」、「アクトビラ」は(株)アクトビラの商標、または登録商標です。
 - 「TSUTAYA TV」「」は、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社の登録商標です。
 - ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Dolby Audio™ およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
 - HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
 - The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Mitsubishi Electric Corporation is under license.
 - Apple、iPhoneは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
iPadはApple Inc.の商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
 - iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
 - “AVCHD” および “AVCHD” ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
 - 「DIATONE」ロゴは三菱電機株式会社の登録商標です。
 - 「DIATONE」および「ダイヤトーン」は三菱電機株式会社の商標です。
 - 「REALINK」および「リアリンク」は三菱電機株式会社の商標です。
 - SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
 - 地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送、新4K8K衛星放送機能ロゴは、一般社団法人放送サービス高度化推進協会(A-PAB)の商標です。
 - 日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のAdvanced Wnn を使用しています。
Advanced Wnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2018 All Rights Reserved.
- なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。



困ったとき

著作権等について
放送について

「困ったとき」もくじ

故障かな?と
思ったら

66

お手入れのしかた

68

各部のなまえ
とはたらき

13

テレビの上手な使いかた

キャビネットを
傷めないために

ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットが変質する原因となります。

持ち運ぶときは

硬いもの(ズボンのベルト金属部、ジャンパーのファスナー、ボタンなど)が触れると傷が付きますので、注意してください。

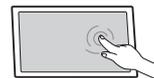
上手な見かた

お部屋の明るさに応じて、メニューで画面の「コントラスト」調整を行ってください。

- テレビからの距離は画面の高さの3～4倍で、また部屋の明るさは新聞が読める程度で見ると見やすく疲れません。
- 暗い部屋は目が疲れます。また連続して長い時間画面を見ていると目が疲れます。
- 画面に直接光が差込まない場所に設置してください。

液晶パネルは強く押さない

強く押すと、干渉しが発生するなどの不具合が起きることがあります。



また、液晶パネル面に圧力を加えたままにすると、液晶の劣化やパネルの破損などの原因になります。

液晶テレビの一部や
付属品を廃棄する場合

付属品・電池などを廃棄する際は法令・規則に従ってください。くわしくは、所在の地方自治体にお問い合わせください。

廃棄時にご注意願います

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ(ブラウン管式、液晶式、プラズマ式)を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店、専門業者や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お客さま便利メモ

このテレビの形名は □ZM-40F9S です。

ご購入年月日

年 月 日

ご購入店名

電 話 ()

製造番号

保証書および本体後面の銘板部に記載しています。

モジュールID(ACAS番号)

本取扱説明書の「ACAS番号を確認する」P.48 の手順で確認ができる「モジュールID」(ACAS番号)を記入してください。問い合わせのときに必要な場合があります。

愛情点検

●長年ご使用の液晶テレビの点検をぜひ!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような
症状は
ありませんか

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても映像や音が出ない。
- 映像が乱れたり、画面が異常にかけたりする。
- その他の異常・故障がある。

ご使用
中 止

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店または専門業者にご相談ください。



本製品は「電気・電子機器の特定の化学物質に関するグリーンマーク表示ガイドライン」に基づく、グリーンマークを表示しています。J-Moss(JIS C 0950 電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)に基づき、特定の化学物質(鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE)の含有についての情報を公開しています。詳細は、Webサイト <https://www.MitsubishiElectric.co.jp/home/ctv/> をご覧ください。

三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号(東京ビル)



872C722A40